

第一章 力 及 力 率

第一節 力 及 力 率 (Force and Statical Moment)

工學上ニ採用サレル力 (Force) ノ單位トシテハ重力單位(Gravitational unit) 即チ單位質量ニ對シテ地球ガ及ボス引力ノ大キサ或ハ重力(Gravity force)ヲ以テスル、從ツテ英國式(即チ呎封度式)ニアリテハ封度 (Pound, lb 又ハ # ニテ表ス) 又ハ噸(英噸又ハ米噸)(Ton), 佛國式(即米突式)ニアリテハ 𠄎 (Kilogram, kg ニテ表ス) 又ハ 佛噸 (Ton) 等ヲ用ヒル。

材料ノ強度其他ヲ論ズルニ當ツテハ屢單位面積上ニ作用スル力ノ大小ヲ取扱フ、此場合ニ採用サルル單位トシテハ英國式ニアリテハ每平方吋ニ於ケル封度又ハ噸 (Pound per square inch, lb/in² 或ハ #/〇" ニテ表ス 又ハ Ton per square inch, ton/in² 或ハ t/〇" ニテ表ス)ヲ用ヒ佛國式ニアリテハ每平方糎ニ於ケル 𠄎 又ハ噸 (Kilogram per sq. centimeter, kg/cm² 又ハ Ton per sq. centimeter ton/cm²) ヲ採用スル。

靜力率 (Statical moment) 或ハ力率 (Moment) ハ力ガ或定點ニ對スル廻轉ノ效力ヲ表スモノデアツテ其力ノ量ト廻轉中心カラ其力ニ至ル距離トノ相乘積ニ依ツテ與ヘラレル、從ツテ其單位ハ廻轉中心カラ單位距離ニ於テ作用スル單位ノ力ニ依ツテ表サレルベク英國式デハ呎封度 (Foot-pound, ft-lb), 呎噸 (Foot-ton, ft-ton), 吋封度 (Inch pound, in-lb), 吋噸 (Inch-ton, in-ton) 等佛國式デハ 𠄎米 (Kilogram-meter, kg-m), 𠄎糎 (Kilogram-centimeter, kg-cm) 等ガ單位トシテ用ヒラレル。

偶力 (Couple or Couple moment) トハ反對ニ向フ等量ノ二力ガ異ナ

ル直線上ニ作用スル時ニ生ズル廻轉力デアツテ無限距離ノ點ニ作用スル無限小ノ力ト考ヘル事モ出來ル、其量ハ該力ノ量ト二力ノ垂直距離トノ積ニテ與ヘラレ從ツテ單位トシテハ力率ニ於ケルト同ジク呎封度、𠄎米其他ガ用ヒラレル。

力及力率ノ各種ノ單位ヲ比較スルトキハ第一表ヲ得ル。

第一表 力 及 力 率 ノ 比 較

	英 國 式	佛 國 式
力	1 lb	0.453 6000 kg
	1 ton (Eng.)	1.016 0640 Fr. ton
	1 Am. ton	0.907 2000 Fr. ton
	2.204 5855 lbs.	1 kg
	0.984 1900 ton	1 Fr. ton
力 率	1 ft-lb	0.138 2573 kg-m
	1 in-lb	1.152 1440 kg-cm
	1 ft-ton	0.309 6963 ton-m
	7.232 8921 ft-lbs	1 kg-m
	0.867 9471 in-lb	1 kg-cm
單 於 位 ケ ル 面 積 ニ 力	1 lb/in ²	0.070 3081 kg/cm ²
	1 ton/in ²	0.157 4902 ton/cm ²
	1 lb/ft ²	4.882 5119 kg/m ²
	14.223 1047 lbs/in ²	1 kg/cm ²
	6.349 6003 tons/in ²	1 ton/cm ²
	0.204 8127 lb/ft ²	1 kg/m ²

1 ton (Eng.) = 2240 lbs.

1 Am. ton = 2000 lbs.

1 Fr. ton = 1000 kgs.

第二節 力ノ圖示法

(Graphical Representation of Forces)

力ハ其量 (Magnitude), 方向 (Direction) 及位置 (Position) 或ハ作用線 (Line of action) ガ與ヘラルレバ決定サレルモノデアアル, 從テ力ハ直線ノ長サ, 方向及位置ニ依ツテ圖式的 (Graphically) ニ表ハス事ガ出來ル, 而シテ力ノ單位ハ前述ノ如ク封度噸又ハ厨等ニテ與ヘラレ一方直線ノ長サハ吋, 厘等ニテ表ハサレル, 故ニ此二ツノ間ノ關係ヲ規約的 (Conventionally) ニキメタナラバ直線ニヨツテ完全ニ力ヲ圖式的ニ紙ノ上ニ表ハス事ガ出來ル, 即チ若シ 1 cm ガ 6 tons ヲ示スモノト規約スレバ $2\frac{1}{4}$ cm ノ長サノ直線ハ 13.5 tons ヲ表ハス事トナル, 斯クノ如ク力ノ量ハ其規約的ニ決定サレタ縮尺 (Scale) デ測ツテ之ヲ圖上ニ置ク (Lay down) 事モ出來又既ニ置カレタルモノヲ測ル事モ出來ルノデアアル。

尙圖上ニ此規約ヲ表ハス爲メニハ普通圖上ニ 1 cm = 6 tons ト記入スルノデアアルガ是レダケテハ不充分デアアル, コレ紙ハ尺度ト異ツテ濕度其他ノ影響ヲ受ケテ伸縮スルモノデアアルカラデアツテ從ツテ圖上ニハ必ズ尺度ノ圖形ヲ記入シテ置カネバナラヌ。

第三節 力ノ合成及分解ノ圖式解法

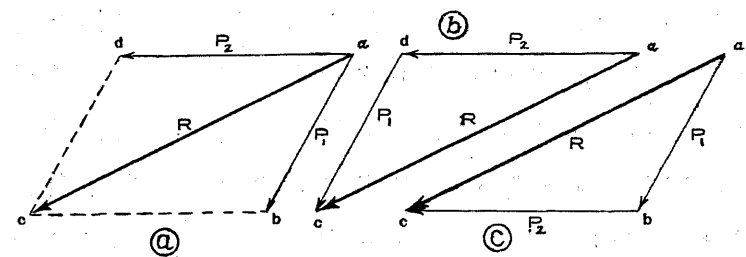
(Graphical Method for Composition and Resolution of Forces)

(I) 二力ノ合成 (Composition of two forces)

茲ニ P_1 及 P_2 ノ二力ガ一點 a ニ働クモノトシテ此ノ二力ガ ab ト ad トノ直線デ表ハサレタル量, 方向及位置ヲ有スルモノトスル, コノ二力ノ合成力 (Resultant force) 即チ此二力ト同一ノ影響ヲ與ヘ

ル一ツノ力ヲ求メンニハ如何ニセンカト云フニ茲ニ二法アル。

(A) 力ノ平行四邊形ニヨル合成 (By the parallelogram of forces).



(Fig 1. a 参照)

茲ニ與ヘラレタ二力ヲ P_1, P_2 トシ其一ツ P_1 ノ力ノ端 b

Fig. 1.

カラ P_2 ニ平行

ナル線ヲ引キ又他ノ力 P_2 ノ端 d カラ P_1 ニ平行ニ一線ヲ引キ其交點 c へ始點 a カラ直線ヲ引ケバ此線ハ此二力ノ合成力ヲ表ス, 即チ $abcd$ ナル平行四邊形ヲ完成スレバ其對角線 ac ガ合成力ヲ示スノデアツテ此平行四邊形ヲ示力平行四邊形 (Parallelogram of forces) ト云フ。

(B) 力ノ三角形ニヨル合成 (By the triangle of forces) (Fig 1. b 及 c 参照).

Fig 1. b ニ示ス如ク一ツノ與ヘラレタル力 ad 即チ P_2 ノ端 d カラ他ノ與ヘラレタル力 P_1 ニ平行ニ且ツ等シク dc ヲ置キ而シテ始點 a カラ終點 c ニ引イタ直線 ac ハ合成力 R ヲ與ヘル, 又ハ逆ニ P_1 ノ端 b カラ P_2 ニ平行ニ且ツ等シク bc ヲ引イテモ矢張同ジク $ac=R$ ナル合成力ガ求メラレル, 此場合ニ adc (Fig 1 b) 又ハ abc (Fig 1 c) ハ是レヲ稱シテ示力三角形 (Triangle of forces) ト云フ。

示力三角形ハ示力平行四邊形ノ半分ノ圖形デアアル事ハ明カデアアル。

斯クノ如クシテ二ツノ力ヲ合成スルト全く逆ノ方法ヲトレバ一ツノ力ヲ位置及方向ノ與ヘラレタ二ツノ分力 (Component) ニ分

ツ事が出来ル,例へば茲ニRナル一ツノカト一點aニ於テ交ル所ノ二ツノ分力 P_1 及 P_2 ニ此Rヲ分解スル事ハ Fig 1 a ノ如ク平行四邊形ヲ作ルカ又ハ Fig 1 b 又ハ c ノ如ク示力三角形ヲ用ヒテ容易ニ之ヲ行フ事ヲ得ル,即チ與へラレタル力Rヲ表ハス直線abノ兩端a及bカラ與へラレタル方向ニ平行線ヲ引キ平行四邊形abcdヲ作ルカ又ハ三角形adc或ハabeヲ完成シタナラバ其平行四邊形又ハ三角形ノ邊ガ即チ與へラレタル力Rニ對スル二ツノ分力ヲ示ス事ハ明カデアアル。

(II). 作用點ヲ同ジクスル數多ノカノ合成 (Composition of any number of forces with the common point of application).

Fig 2. ニ示ス五力 P_1, P_2, P_3, P_4 及 P_5 ガ A ナル共通點ニ對シテ同一ノ平面内ニ作用スルモノトシ其合成力即チ此五力ヲ代表スル一力ヲ求メント欲スルノデアアル。

此五力ノ内ノ何レカノ二力例へば P_1 及 P_2 ノ合成力ハ (I) ノ場合ノ方法即チ示力三角形ヲ作ツテ容易ニ求メ得ル,即チ Fig 2 b ノ如ク \vec{ab} ヲ P_1 ニ等シク且ツ平行ニ置キ \vec{bc} ヲ P_2 ニ等シク且ツ平行

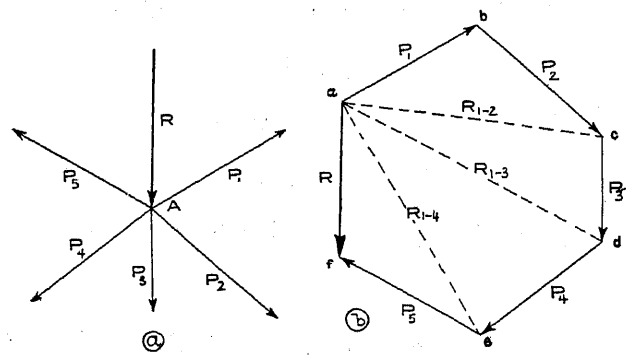


Fig. 2.

ニ置キ而シテ ac ヲ結ベバ此線 R_{1-2} ハ P_1 及 P_2 ノ合成力ヲ示ス,次ニ今求メタル ac ナル R_{1-2} ノカト P_3 トノ合成力ハ又同ジク三角形ノ作圖ニヨツテ ad ナル R_{1-3} ガコレヲ示

ス事ヲ知ル,從ツテ R_{1-3} ハ R_{1-2} 及 P_3 即チ P_1, P_2 及 P_3 ノ合成力ナルヲ知ル,同様ニシテ同ジ作圖ヲ反復スレバ最後ニ \vec{af} ナル R ハ P_1, P_2, \dots, P_5 ノ合成力ナル事ヲ知ル。

此 b 圖ニ於テハ説明ノ便宜上點線ニテ示シタ中間ノ合成力ヲ書入レタケレドモ是レハ最後ノRヲ求メル爲メニハ實際ニハ必要ナキモノデアアル,實際ニハ與へラレタル力ヲ順次ニ一ツノ力ヲ畫キ終リタル端カラ次ノ力ヲ置ク如ク與へラレタル力ニ等シク且ツ平行ニ置ケバ茲ニ與へラレタル力ノ連續ヨリ成ル多邊形abcd efガ畫カレル,コノ多邊形ノ始點aカラ終點fニ直線 \vec{af} ヲ引イテ此ノ多邊形ヲ閉合スレバ此閉合線 (Closing line) ガ合成力Rヲ與ヘル。此多邊形ヲ力邊形 (Force polygon) ト云フ。

b 圖ニ見ル如ク合成力Rノ方向ハ他ノ與へラレタル力ノ方向トハ多邊形ノ邊ニ沿フテ進ム場合ニ於テ反對トナル事ヲ知ル,即チ $\vec{ab}, \vec{bc}, \dots, \vec{ef}$ ト進ムダノニ對シRハ \vec{fa} トナラズシテ \vec{af} トナリ其矢ノ方向ガ他ノ力ニ於ケルト逆ノ方向ヲ有スル事ヲ知ル,合成力ノ方向ハ常ニ他ノ力ノ方向ニ對シ逆デアアル。

力ノ數ガ何程アツテモ,ソレガ共通點ヲ持チ同一平面内ニアルモノナレバ次ノ一般作圖法ニヨツテ其合成力ガ求メラレル。

「與へラレタル力ニ平行ニ且ツ等シキ線ヲ以テ一ツノ力ヲ置キタル其端カラ次ノ力ヲ書キ初メルト云フ様ニ順序ヨク與へラレタル全部ノ力ヲ記入シテ最後ニ始點カラ終點ニ結合シタ線ガ量及方向ニ於テ合成力ヲ示ス。」

此作圖ニ於テ最後ニ求メラレル結果ハ作圖中ニ力ヲ置ク順序ニハ何等影響サルル事ナキヲ知ル,故ニ作圖ヲ行フニ當ツテ其順

序ハ之レヲ如何ニスルモ差支ナシ、唯線ト線トガ非常ナ鋭角デ交ラシメナイ様ニ順序ヲ定メルガ作圖ヲ精確ナラシメ圖ヲ明瞭ナラシメル所以デアアル。

(III). 共通ノ作用點ヲ有スル力ノ平衡 (Equilibrium of forces with a common point of application).

Fig 3. aニ示ス如ク五力 P_1, P_2, P_3, P_4, P_5 ガ共通作用點Aヲ有スルモノトシ此等

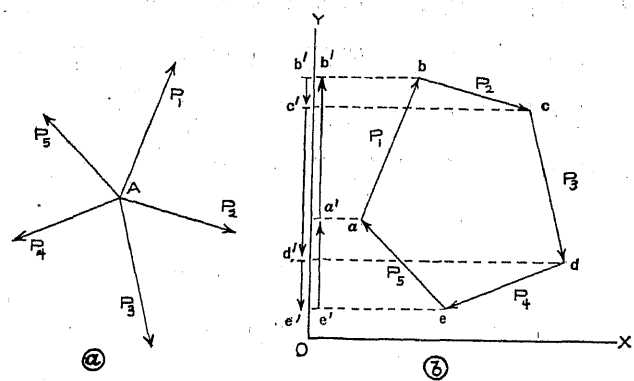


Fig. 3.

ノ力ヲ量ト方向トヲ正シク順次一力ヲ置イテカラ次ノ力ヲ置ク如ク配列シタ所ガb圖ノ如ク $abodea$ ノ閉多邊形 (Closed polygon) ヲ作ツタモノトス、然

レバ此場合ニ合成力 = 0 トナリ五力 P_1, P_2, \dots, P_5 ハ互ニ平衡 (Equilibrium) ヲ保ツノデアアル、即チ圖式的ニ之ヲ見レバ一點ニ作用スル力ノ平衡ノ條件トシテハ力邊形 (Force polygon) ガ閉合シ且ツ其力邊形ノ周邊ニ沿フテ進ム時ニ唯一定ノ方向ノ矢ノミヲ有シテ反對ノ方向ノ矢ニ出遇ハナイ事ヲ意味スルノデアアル、故ニ今假ニ閉多邊形ノ邊ノ何レカ一力ノ方向ヲ反對ニ取ツテ考フレバコレガ他ノ總テノ力ノ合成力トナルノデアアル。

扱b圖ノ多邊形ノ五邊ヲ任意ノ直線OYトコレニ直角ナルOXトノ方向ニ投射シテ此方向ノ分力ニ就イテ考フレバOYノ方向

ニ於ケル分力ノ和即チOY線ニ投射サレタ分力ノ總和ハ零ナル事ヲ知ル、此事實ハOXノ方向ニ就イテモ同様デアアル、從ツテ平衡ノ條件ヲ式ニ表ハセバ

$$\left. \begin{aligned} \Sigma(\text{水平分力}) &= 0 \quad \text{即チ} \quad \Sigma H = 0 \\ \Sigma(\text{垂直分力}) &= 0 \quad \text{即チ} \quad \Sigma V = 0 \end{aligned} \right\} \dots\dots\dots (1)$$

(IV). 異ナル作用點ヲ有スル力ノ合成 (Composition of forces with any point of application) (Fig 4. 参照).

一點ニ働カナイ P_1, P_2, \dots, P_5 ナル力ノ合成力Rヲ見出スニハ

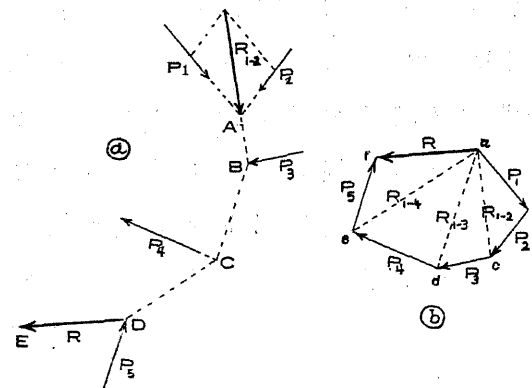


Fig. 4.

先ヅ其内ノ何レカニツ例ヘバ P_1 ト P_2 ノ二力ノ交點Aガ其共通作用點トナル様ニ夫等ノ力ヲ移動セシメ然ル後示力平行四邊形又ハ三角形ノ方法ニ依ツテ其合成力 R_{1-2} ヲ見出ス事ガ出來ル、次ニ此ノ R_{1-2} ト P_3 トヲ以テ其合成力ヲ

見出シ順次斯クノ如ク反復シテ遂ニ最後ノ合成力Rヲ見出シ得ルニ至ル、然シ此場合ノ作圖ニ於テ中間ノ合成力ノ量及方向ハ別圖ニ於テ決定スルガ便利デアアル、即チb圖ノ如ク與ヘラレタル力ヲ多邊形ニ置キ其始點aカラ各對角線ヲ引キ其合成力ヲ見出スノデアアル、即チ $ac = R_{1-2}$ ハ P_1 ト P_2 トノ合成力デアリ $ad = R_{1-3}$ ハ R_{1-2} ト P_3 或ハ P_1, P_2 及 P_3 ノ合成力デアアル、此b圖ニ見出サレタル合成力 R_{1-2} 即 ac ノ方向ニ平行ニ P_1 ト P_2 トノ交點Aカラ平行

線ヲ引キ其線ガ P_3 ト B ニ於テ交ルモノトセバ其 B カラ ad 即 R_{1-3} ニ平行線ヲ引キ P_4 ト C ニ會セシメ C ヨリ ae 即 R_{1-4} ニ平行線ヲ引キ之レガ P_5 ト D ニ出會フトセバ此 D ヨリ af ニ平行ニ引カレタ線 DE ハ最後ノ合成力 (Final resultant) R ノ方向ヲ示スモノデアツテ其量ハ b 圖ノ af ニテ示サレル、 a 圖ノ $ABCDE$ ナル多邊形ヲ稱シテ P_1, P_2, \dots, P_5 ニ對スル合成力多邊形 (Resultant force polygon) ト云ヒ而シテ $abcdef$ ハ單ニ力邊形 (Force polygon or Force diagram) ト稱スルノデアアル。

今若シカトカトガ非常ナ銳角ヲ有スル如キ場合アリトスレバ此時ニハ此二力ノ交點ガ圖面 (Drawing paper) ノ外ニ出ル事ガアル、此場合ニハ上述ノ方法デハ合成力ヲ求メル事ガ出來ナイ、殊ニ全部ノ力ガ平行シテアル場合ニ然リトスル、斯クノ如キ場合ニハ次ニ説明スル一般的方法ヲ用ヒネバナラヌ、其説明トシテ先ツ最モ簡單ナル場合即チ二力 P_1, P_2 ガ殆ンド平行ニ働ク場合ヲ考ヘル、

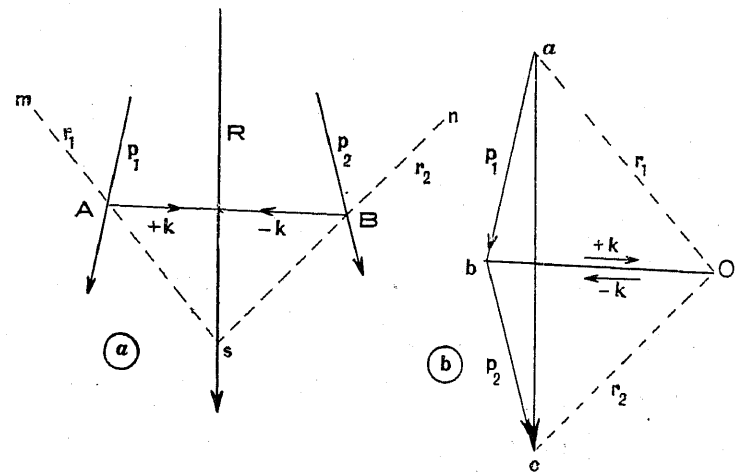


Fig. 5.

Fig 5ノ P_1 ト P_2 トハ a 圖ニ示ス如ク與ヘラレタモノトシ其量及方向ヲ正シク b 圖ニ置キ P_1 ヲ $ab = P_1$ ヲ $bc = P_2$ ヲ

ac ガ此二力ノ合成力 R ノ量及方向ヲ與ヘルノデアアル、今 R ノ作用スル位置ヲ求メル爲メニ茲ニ實在スル P_1, P_2 ノ外ニ任意ノ量及方向ヲ有シ且ツ等シクシテ反對ニ向フ (Equal and opposite) 二力 $+K, -K$ ヲ採ツテ考ヘル、是等ノ力ノ作用點ハ P_1, P_2 上ノ任意點 A, B トシ且ツ b 圖ニ於テ K ノ量ヲ bO ニテ表ハスモノトスル、然ル時ハ b 圖ニ於テ ab ナル P_1 ト bO ナル $+K$ トデ aO 即チ r_1 ナル合成力ヲ與ヘル、次ニ同圖デ Oa ナル $-K$ ト bc ナル P_2 トニ依ツテ合成力 Oc 即チ r_2 ヲ與ヘル、而シテ $+K$ ト $-K$ トハ消殺 (Cancel) スルガ故ニコレハ無イモノト同ジデアアル、從テ b 圖ニ於テ R ハ P_1 ト P_2 トノ合成力デアルト同様ニ r_1 ト r_2 トノ合成力デアルト見ル事モ出來ル、從テ今 b 圖ニ於テ得タ r_1, r_2 ヲ a 圖上ニ置ケバ即チ A 點ヲ通ジテ $r_1 =$ 平行ニ mA ヲ置キ B 點ヲ通ジテ $r_2 =$ 平行ニ Bn ヲ置イテ是等ノ線ヲ延長シテ其交點 s ヲ見出シタナラバ s ハ合成力 R ノ働ク位置ヲ示スモノデアリ同時ニ R ノ量及方向ハ b 圖ニ於テ既ニ求メラレテ居ル事ヲ知ル此 a 圖ニ於ケル多邊形ノ邊 mA, Bn ハ b 圖ト参照スレバ判ル如ク b 圖ノ O ナル極 (Pole) カラ引カレタル極射線 (Polar ray) 即チ Oa, Ob, Oc ニ平行デアツテ是レヲ稱シテ平衡多邊形 (Equilibrium polygon) 或ハ索邊形 (Funicular polygon) ト云フ。

平衡多邊形ノ形ハ極 O ノ採リ方ニヨツテ變化スルノデアツテ $Ob = K$ ナル力ハ任意ニ定メラレルモノデアアルカラ從ツテ Ob ノ採リ方ニヨリ力 P_1, P_2 ニ對シテ無限ノ平衡多邊形ヲ作り得ル事トナル、然シ何レモ同ジ性質ヲ有スル事ハ勿論デアツテ其兩端邊 (Extreme sides) ノ延長線ノ交點ハ即チ R ガ作用スル點デアアル。

實際ノ作圖ニ當ツテハ先ヅ始メニ與ヘラレタ力 P_1, P_2 ニ平行ニシテ且ツ等シク b 圖ニ力邊形 (Force polygon) abc ヲ作り其閉合線 (Closing line) ac ニヨツテ合成力 R ノ量及方向ヲ知ル、次ニ b 圖ニ於テ任意ノ極 O ヲ擇ビ Oa, Ob, Oc ノ極射線ヲ引ク、更ニ a 圖ニ於テ與ヘラレタル力ノ一方例ヘバ P_1 ノ上ノ任意ノ點 A ヲ通ジテ極射線 Oa ニ平行ニ mA ヲ引キ更ニ $AB \parallel Ob, Bn \parallel Oc$ トシ mA ト Bn トヲ延長シテ其交點 s ヲ求ムレバコレガ合成力 R ノ働ク作用點ヲ與ヘルノデアアル。

Fig. 5 ハ二方ノ場合ニ就イテ説明シタガ全ク同様ニシテ同一

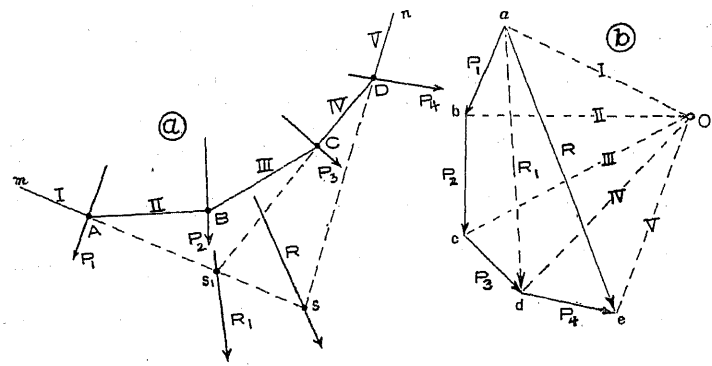


Fig. 6.

今 Fig. 6 ニ示サレタ P_1, P_2, P_3 及 P_4 ノ四力ニ對スル合成力ヲ求メンニハ b 圖ニ於テ與ヘラレタ力ヲ量及方向ヲ正シク置キ力邊形 $abcde$ ヲ得任意ノ極 O ヲ採リ極射線 I, II, \dots, V ヲ引ク、次ニ此極射線ニ平行ニ平衡多邊形ヲ作レバ其兩端邊ノ延長ガ R ノ働ク位置ヲ與ヘルノデアツテ先ヅ a 圖ノ P_1 ノ上ニ任意ノ點 A ヲ擇ビ極射線 Oa, Ob, \dots ニ平行ニ A カラ $mA \parallel Oa, AB \parallel Ob, BC \parallel Oc, CD \parallel$

平面内ニ散布サレタ任意ノ數ノ力ニ對シ力邊形及平衡多邊形ヲ作圖シテ合成力 P ノ位置及量ヲ見出ス事ガ出來ル。

$Od, Dn \parallel Oe$ ノ線ヲ順次ニ引キ出來タ平衡多邊形 $mABCDn$ ノ兩端邊 mA, Dn ノ延長線ノ交點 s ヲ求ムレバ b 圖ニ於テ見出シタ R ノ作用スル位置ヲ與ヘル。

モシ與ヘラレタ全體ノ力ニ對スル合成力デナク單ニ P_1, P_2 及 P_3 ノ三力ノミノ合成力ガ知リタイ時ニハ此三ツノ力ニ對スル平衡多邊形ノ兩端邊ハ第一邊 mA ト第四邊 CD トデアアルカラコノ二邊ノ延長線ノ交點 s_1 ヲ通ジテ此三力ノ合成力 R_1 ガ作用スルノデアアル。

尙與ヘラレタ力ヲ力邊形ニ置ク場合ニ其順序ハ全ク無關係デアアル、單ニ力邊形ノ邊ト極射線トノ順序ニ注意シテ平衡多邊形ヲ引ケバ同ジ結果ヲ與ヘル筈デアアル、例ヘバ Fig. 7 ニ於テ力邊形ニ

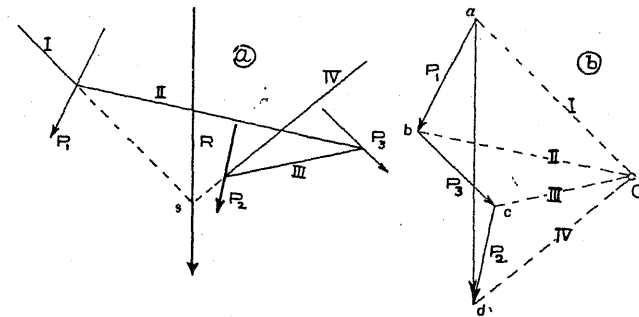


Fig. 7.

置イタ力ノ順序ヲ P_1, P_3, P_2 トスレバ極射線 II ハ力邊形ニ於ケル P_1 ト P_3 トノ間ニアルカラ平衡多邊形ニ於テモコレニ平行ナ II ノ邊ハ P_1 ト P_3 トノ間

ニ書入レ次ニ III ノ極射線ハ P_3 ト P_2 トノ間ニ引カレテ居ルカラ a 圖ニ於テモ P_3 ト P_2 トノ間ニ書入レル様ニスレバヨイ、同様ニ IV ノ邊ヲ引ケバ I ト IV トノ交點 s ハ R ノ作用點ヲ示スノデアアル。

(V). 異ナル極ニ對スル二個ノ平衡多邊形ノ關係。

Fig. 8 ニ於テ三ツノ與ヘラレタ力 P_1, P_2 及 P_3 ニ對シ極 O ト O'

トノニツヲ採リ極Oカラノ極射線ガ I, II, III, IV デアリ極O'カ

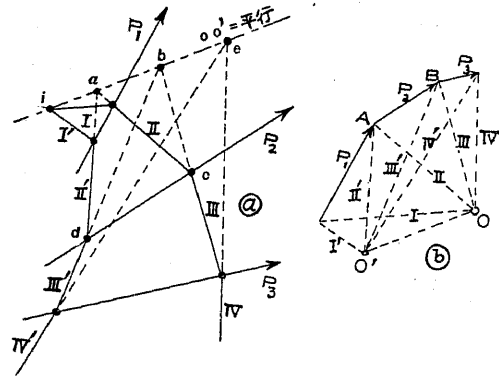


Fig. 8.

ハニツノ極O及O'ヲ結ンダ直線OO'ニ平行デアアル。

[證明] ニツノ多邊形 ABOO' 及 abed = 於テ五ツノ相當邊ガ互ニ平行デアアル、即チ $ad \parallel AO'$, $be \parallel BO$, $dc \parallel AB$, $ac \parallel AO$ 及 $ab \parallel O'B$, 從ツテ $ab \parallel O'O$ トナル、同様ニ説明シテ $be \parallel O'O$, $ia \parallel O'O$ トナルベク即チ $iabe$ ハ OO' ニ平行ナル直線デアアル。

(VI) 偶力即チ無限距離ニ作用スル無限小ノ力 (Couple—Infinitely far and infinitely small force as the resultant of finite forces)

Fig. 9. a = 其位置ノ示サレタ如キ四ツノ力 P_1, P_2, P_3, P_4 ヲb圖

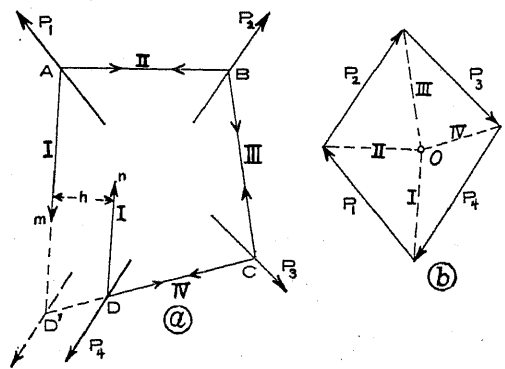


Fig. 9.

ラノ極射線ガ I', II', III', IV' デアルトスレバ此ノ二種ノ極射線 = 各相當シタ平衡多邊形 I II III IV 及 I' II' III' IV' = 於テ I ト I', II ト II', III ト III', IV ト IV' トヲ交ラシメルト是等ノ交點ハ一ツノ直線上ニアリ且ツ此直線

ノ如ク其量及方向ヲ正シク置イテ多邊形トシタ時ニ此多邊形ガ閉合 (Close) シタモノトスル、然ル時ハ

$$\text{合成力} = 0$$

デアアル、即チ任意ノ二軸ヲ採ツテ考フレバ各力ノ其軸ノ方向ニ於ケル分力ノ和ハ

$$\Sigma H = 0 \quad \Sigma V = 0$$

ナル平衡條件ヲ滿ス事トナル、即チ此四力ハ平衡ヲ保ツ様ニ見ユルモ此等ノ力ハ一點ニ働イテ居ルカデハナイノデアアルカラ平衡ヲ滿タスモノデアアルト斷言スル事ハ出來ナイ。

⑥圖ノ極Oカラ極射線 I, II, III, IV ヲ引キコレニ相當シタ平衡多邊形ヲ④圖ニ作レバ圖ニ見ル如ク此多邊形 $mABCDn$ ハ必ズシモ一般的ニハ閉合シナイ、即チ極射線 I, I = 相當スル二邊 mA 及 Dn ガ一致シナイ、今④圖ノ平衡多邊形 ABCD = 於テ茲ニ平衡力 (Equilibrium force) ガ働クモノト考フレバ即チ A 點ニハ I, P_1 及 II ノ三力ガ働イテ⑥圖ニ示ス如ク平衡ヲナスモノトシ B 點ニハ II, P_2 , III ノ三力ガ平衡ニアリ C 點ニハ III, P_3 及 IV ニテ平衡ヲ保チ D 點ニテハ IV, P_4 及 I ガ平衡ニアルモノトスレバ各點ニ於テ互ニ平衡ニアル所ノ三力ガ働イテ居ルノデアアルカラ全體トシテ平衡ガ成立ツ譯デアアル、而シテ其平衡力ノ内デ I ヲ除イタ他ノ II, III 及 IV ハ等シキ力ガ反對ニシカモ同一直線上ニ働ク故ニ互ニ打消 (Cancel) サレルベキモ mA 線上ニ働ク I ト Dn 線上ニ働ク I トハ量ハ等シイケレドモ同一線上ニ作用シナイカラ打消サレズシテ殘ル、即チ P_1, P_2, P_3, P_4 ノ四力ハ彼等自ラノ外ニ更ニニツノ I ト云フ力ガ加ハツテ始メテ平衡ニアル事ヲ知ル、I ノ二力ガ加ヘラレナケレバ平衡ガ成立タナイノデアアル、此 I ノ二力ハ平行デアアル故ニ同一平面上無限距離ニ於テ交ルベク其合成力ハ無限小デアアルト考ヘラレル、即チ P_1, P_2, P_3, P_4 ノ四力ノ合成力トシテ茲ニ無限距離ニ無限小ノ力ヲ持ツ理デアアル、而シテ此 Fig. 9 ノ I, I ナル力ハ等シクシテ反對ノ方向ニ向フ故ニ偶力ヲ構成スベク其相互ノ距離 h

ハコレヲ偶力ノ挺率 (Arm of couple or Leverage) ト云ヒカト挺率トノ
 乘積 $I \times h$ ヲ稱シテ偶力率 (Moment of couple) ト云フ、此乘積ノ値ハ極
 Oノ位置ニハ無關係デアアル、故ニ此乘積ヲ以テ偶力ノ尺度 (Measure)
 トスル。

始メニ述ベタ如ク力邊形⑥ハ閉合シタノデアアルカラ移動
 (Translation) ニ對スル運動ノ傾向ハ皆無デアアル事ヲ知ツタノデア
 アルガ④圖ニ於テ見ル如ク四力ハ平衡ヲ保ツテ居ナイ事ヲ發見シ
 タ、即チ平衡ヲ保ツニハ $I \times h$ ノ偶力ガ加ヘラレル事ヲ要ス、換言ス
 レバ四力ノ合成力トシテ $-I \times h$ ナル偶力ヲ存シ廻轉 (Rotation) ニ
 對スル運動ノ傾向ヲ有スルノデアアル。

(VII) 作用點ヲ異ニスル力ノ平衡。

Fig. 9 ④ニ於テモシ P_4 ナル力ヲ量及方向ヲ其儘トシ唯位置ダ
 ケヲ平行ニ移動セシメテ多邊形ノ邊 I ト IV トノ交點 D' ニ働ク
 モノトスル、然ル時ハ④圖ノ二力 I 及 I' ハ一致シ互ニ打消スヲ以
 テ P_1, P_2, P_3, P_4 ノ四力ハ別ニ他ノ力ヲ加ヘナイデ彼等自ラニテ互ニ
 平衡ニアル事ヲ知ル、即チ前述ノ偶力 $I \times h$ ハ P_4 ノ移動ニヨツテ零
 トナリ同時ニ四力ノ平衡ヲ保ツ爲メニ必要デアツタ所ノ無限距
 離ニアル無限小ノ力ガ無クナツタノデアアル、換言スレバ同一平面
 内ノ異ナル點ニ働ク力ノ靜的平衡 (Static equilibrium) ニ對スル必要
 且ツ充分ナル條件ハ移動及廻轉ニ對スル運動ノ傾向ヲ有シナイ
 ト云フ事デアツテ圖式的ニハ其與ヘラレタ力ガ一ツノ閉多邊形
 ヲ作り尙且ツ其平衡多邊形モ亦閉合スルト云フ事デアアル。

解析的ニ此平衡ノ條件ヲ表ハセバ、

$$\left. \begin{aligned} \Sigma(\text{水平分力})=0 & \quad \text{即チ} \quad \Sigma H=0 \\ \Sigma(\text{垂直分力})=0 & \quad \Sigma V=0 \\ \Sigma(\text{力率})=0 & \quad \Sigma M=0 \end{aligned} \right\} \dots\dots\dots (2)$$

トナリ其最後ノ式 $\Sigma M=0$ ハ偶力ガ零トナルベキ條件ヲ示スノデ
 アル、(2) 式中最初ノ二式ハ(1)式ト一致スルモノデアアル。

(VIII) 同一平面内ニアル平行力ノ合成

前ニ説明シタ平衡多邊形ヲ應用シテ合成力ヲ見出す方法ハ其

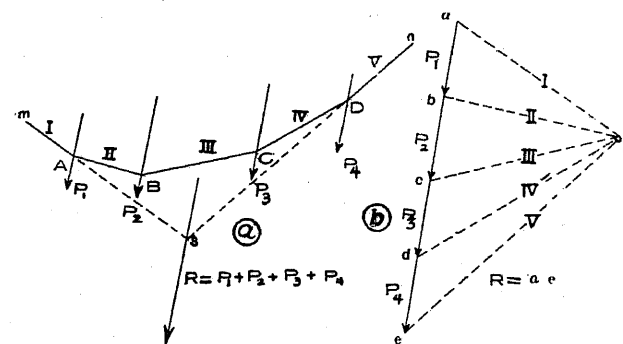


Fig. 10.

與ヘラレタ力ガ平
 行ノ時ニ特ニ便利
 デアル、茲ニ P_1, P_2, \dots
 P_4 ナル四ツノ平行
 力ガ與ヘラレテ其
 合成力ヲ求メンニ
 ハ先ヅ Fig. 10 ④ニ
 於テ其四力ヲ力邊

形ニ置イテ一ツノ直線即チ示力線 (Force line) ae ヲ得次ニ任意ニ
 極 O ヲ選ビ O ヨリ引イタ極射線 Oa, Ob, Oc, \dots, Oe 即チ I, II, III, \dots V ニ
 相當シテ引カレタ平衡多邊形ヲ $mABCDn$ トスル、然ル時ハ始メニ
 其量ヲ ae ニ依ツテ決定シテ置イタ合成力 R ハ平衡多邊形ニ於ケ
 ル兩端邊 I 及 V ノ交點 s ヲ通ジテ働ク事ヲ知ル。

此場合與ヘラレタ力ノ内ノ何レカガ反對ノ方向ヲ有スルモ何
 等差支ナイノデアツテ Fig. 11 ニ其一例ヲ示ス。

P_1, P_2, P_3, P_4 ノ四力ヲ與ヘラレタモノトシ Fig. 11 ④ニ其作用スル
 位置ヲ示スモノトセバ力邊形⑥ニ於テ $ab=P_1, bc=P_2, cd=P_3, de=P_4$

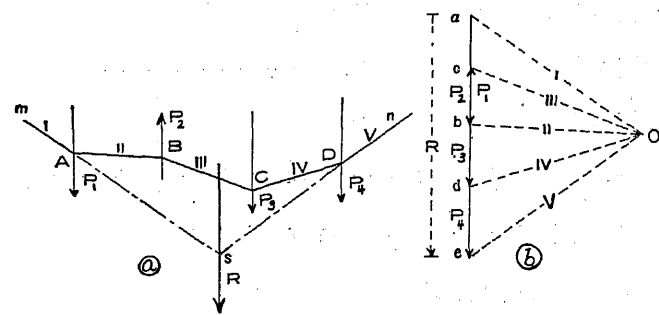


Fig. 11.

ト置ク、合成力ハ
明カニ $ae=R$ デ
アル、任意極 O ヲ
選ビ極射線 I, II,
III, ... V ニ相當シ
テ平衡多邊形
 $mABCDn$ ヲ順序

正シク注意シテ引ケバ其兩端邊 mA, Dn ノ交點 s ハ與ヘラレタ四
力ノ合成力 R ノ作用スル點デアアル。

(IX) カノ分解 (Decomposition of forces in a plane)

首題ニ就キテハ既ニ其一部ヲ説明シタ、即チ一ツノ與ヘラレタ
力 R ヲ一點 a ニ於テ其 R ニ出遇フ様ナ方向ノ與ヘラレタ二力ニ
分ツ事ハ既ニ本章第三節 (I) (Fig. 1 参照)ニ於テ述べタ所デアツテ
示力平行四邊形又ハ三角形ヲ作ル事ニ依ツテ容易ニ解キ得タノ
デアアル、今 P ナル力ヲコレニ平行デアアル位置ノ與ヘラレタ二力ニ
分ツ法ヲ説明シヤウ、本法ハ前項ニ説明シタ平行力ノ合成ヲ反對

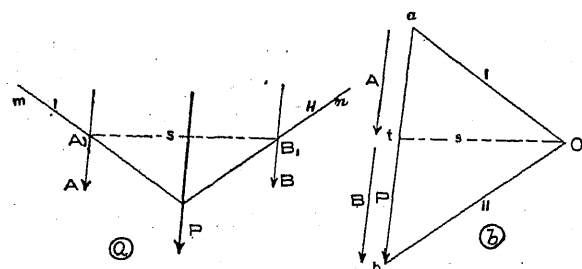


Fig. 12.

ニ行ヒ平衡多邊形ヲ逆
ニ應用スレバヨイノデ
アル。

Fig. 12 ニ於テ與ヘラ
レタル力ヲ P 、分力ノ位
置ヲ A 及 B トス、今此三
力ヲ任意ノ平衡多邊形

即チ I, s, II 又ハ mA, B, n デ連絡シ別ニ (b) 圖ニ於テ力 P ノ端 a ト b ト

カラ此平衡多邊形 (a) ノ邊 I 及 II ニ平行線ヲ引キ其交點ヲ O トシ、
此 O ヲ通ジテ平衡多邊形ノ邊 s ニ平行ナ線 s ヲ引キ是レガ示力
線 P ヲ t ニテ切ツタモノトスル、然レバコノ線分 $at=A, tb=B$ ハ求
ムル所ノモノトナル。

此證明ハ極 O ニ相當シタル極射線及平衡多邊形ニ依ツテ平行力 A 及 B ナ合
成スル作圖ヲ照合スレバ明カデアアル、即チ $ab=A+B$ ハ量ニ於テハ P アアリ其作
用點ガ兩端邊 I ト II トノ交點ヲ通過スベキデアツテ總テノ條件ヲ滿ステ見ル
ノデアアル。

是レト同ジ方法デ茲ニ次ノ如キ實用上重要ナル問題ヲ解キ得
ル、即チ多クノ平行力 P_1, P_2, P_3, \dots ト平衡ヲ保ツベキ而シテ位置ノ與
ヘラレ且ツ與ヘラレタル力ニ平行ナル二力 A 及 B ヲ求メント欲
スルナラバ其作圖ヲ Fig. 13 ノ如ク行ヒ得ル。

Fig. 13 (b) ニ於テ與ヘラレタ力ヲ量及方向ヲ正シク置キテ力邊
形 $abcde$ ヲ作り任意ノ極 O カラ極射線 I, II, III, IV, V ヲ引キコ

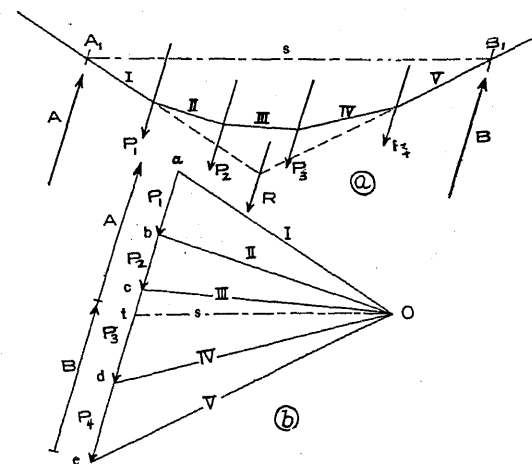


Fig. 13.

レニ相當シタル平衡多
邊形ヲ (a) 圖ニ引ケバ其
兩端邊 I 及 V ガ力 A 及
 B ノ作用線ヲ A_1 及 B_1 ニ
テ切リタルモノトス、然
レバ A_1 ト B_1 トヲ結ブ事
ニ依ツテ平衡多邊形ヲ
閉合シ而シテ又 (b) 圖ニ
於テ極 O カラ此求メタ
閉合線 s ニ平行ナ線ヲ
引キ示力線 ae ヲ t ニテ

切レバ此 t ハ求ムル分割點ヲ與ヘル、即チ ta ノ長サガ A ナル力ノ量ヲ示シ et ノ長サガ B ナル力ノ量ヲ示スノデアアル、何トナレバ Oat ナル三角形ヲ見レバ A ナル力ト I ト s トニテ三角形ヲ爲スヲ見ル、コレハ ㉔ 圖ノ A_1 點ニ於ケル此三力ノ平衡ヲ示スノデアアルカラ ta ガ A ナル事ヲ知ルノデアアル、全ク同様ニ三角形 Oet ハ V, s 及 B ナル三力が B_1 點ニ於テ爲ス平衡ヲ示スノデアアル。

本題ハ四カト平衡ヲ保ツベキニ力ヲ見出サントシタノデアアルガ假ニ I ト V トノ交點 $s = R = \Sigma P$ ナル與ヘラレタル四力ノ合成力が働イテ居ル場合ニ此 R ナル一力ヲコレニ平行テ且ツ位置ノ與ヘラレタニ力 A 及 B ニ分解スル事ヲ要求サレタモノト考フレバ本問題ハ全ク Fig. 12 ニ説明シタト同シ解法トナリ容易ニ是ヲ了解スル事ガ出來ヤウ。

更ニ一步ヲ進メテ Fig. 14 ノ如ク與ヘラレタル一力 R ト平衡ヲ保チ且ツ其位置ノ與ヘラレタル(一點ニ出遇ハナイ事ヲ要ス)三力 X, Y, Z ヲ見出サント欲スル場合此解法ヲ説明シヤウ。

Fig. 14 ニ於テ四力 R, X, Y, Z ノ内何レカニツ宛ヲ相交ラシメル、

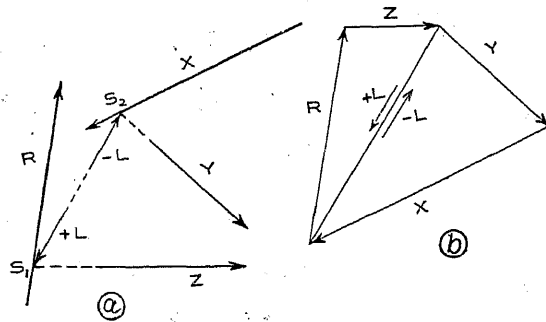


Fig. 14.

例ヘバ R ト Z, X ト Y トヲ交ラシメ其交點ヲ S_1, S_2 トシヤウ、此交點 S_1 ト S_2 トヲ通シテ等量ニシテ反對ニ向フ二力 $\pm L$ ヲ採ツテ考フ、而シテ先ヅ初メニ R ナル與ヘラレタル力ト平衡ヲ保ツ

ベキ且ツ S_1 ニ働クニツノ力 Z ト L トヲ求メル、即チ ㉕ 圖ニ R ナル力ヲ方向ノ與ヘラレタ Z ト L トニ分解シ其方向ヲ逆ニスル時ハ

$S_1 =$ 働ク求ムル平衡力 Z 及 L ガ求メラレル、次ニ S_2 點ニ就キテ考フ、假定シタ通り $S_2 =$ ハ等量ニシテ反對ニ向フ $-L$ ガアルノデアアルカラ此力 $-L$ ヲ是レト平衡ヲ保ツベキ且ツ與ヘラレタル二方向ヲ有スル X ト Y トニ分解スル事 ㉕ 圖ノ如クニシテ其量及方向ヲ求メ得ル、最後ニ $+L$ ト $-L$ トハ等シクシテ反對ニ向フヲ以テ互ニ打消シ結局一ツノ R ナル力ト平衡ヲ保ツベキ且位置ノ與ヘラレタル X, Y, Z ノ三力が求メラレタ事トナル。

若シ Fig. 14 ガ R ナル力ヲ方向及位置ノ與ヘラレタル而シテ一點ニ交ラナイ三分力ニ分解スルト云フ問題デアツタナラバ Fig. 14 ニ求メタ三力 X, Y, Z ヲ反對ノ方向ニ働クモノトスレバヨイノデアアル。

尙一ツノ力ヲ同一平面内ニアル四ツ又ハ四ツ以上ノ分力ニ分解スル事ハ不定 (Indeterminate) デアル、又三分力ニ分ツニシテモ是等ガ一點ニ會スル場合ニモ解答ハ不定デアアル。

例題一. Fig. 15 ニ示ス荷重ヲ受クル桁ノ兩支點 A, B ニ於ケル反力ヲ求メ計算ヨリ得タルモノト比較セヨ。

答. Fig. 15 参照

A, B 兩支點ニ生ズル反力ヲ求メルトハ即チ與ヘラレタ外力ト平衡ヲ保ツベキ且ツ與ヘラレタ A, B 二點ニ作用スベキニ力ヲ求メルト云フト同シ事デアアルガ故ニ解法ハ次ノ如ク行ハレル、即チ先ヅ示力線上ニ外力ヲ順次羅列シ任意極 O ヲ選ビ O ヨリ出タ極射線 I, II, \dots ニ平行ニ平衡多邊形ヲ I, II, \dots ヲ作圖シ兩端邊ガ A, B 支點ヲ通ズル垂直線トノ交點ヲ求メコレヲ結ブ閉合線 s ニ平行ニ O ヲ通シテ射線ヲ引ケバ示力線上ニ求ムル反力 $A=89.9$ ton, $B=73.1$ ton ヲ測リ得ル。

次ニ計算ヨリ反力ヲ求ムル爲メニ外力ガ B 支點ニ對スル力率ハ反力ガ同點ニ對スル力率ニ等シキ事ヲ式ニ立テ

$$A \times 27^m = 13^4 \times 1,5^m + 13^4 \times 4,5^m + \dots + 17^4 \times 24^m$$

$$\therefore A = 89.944 \text{ tons.}$$

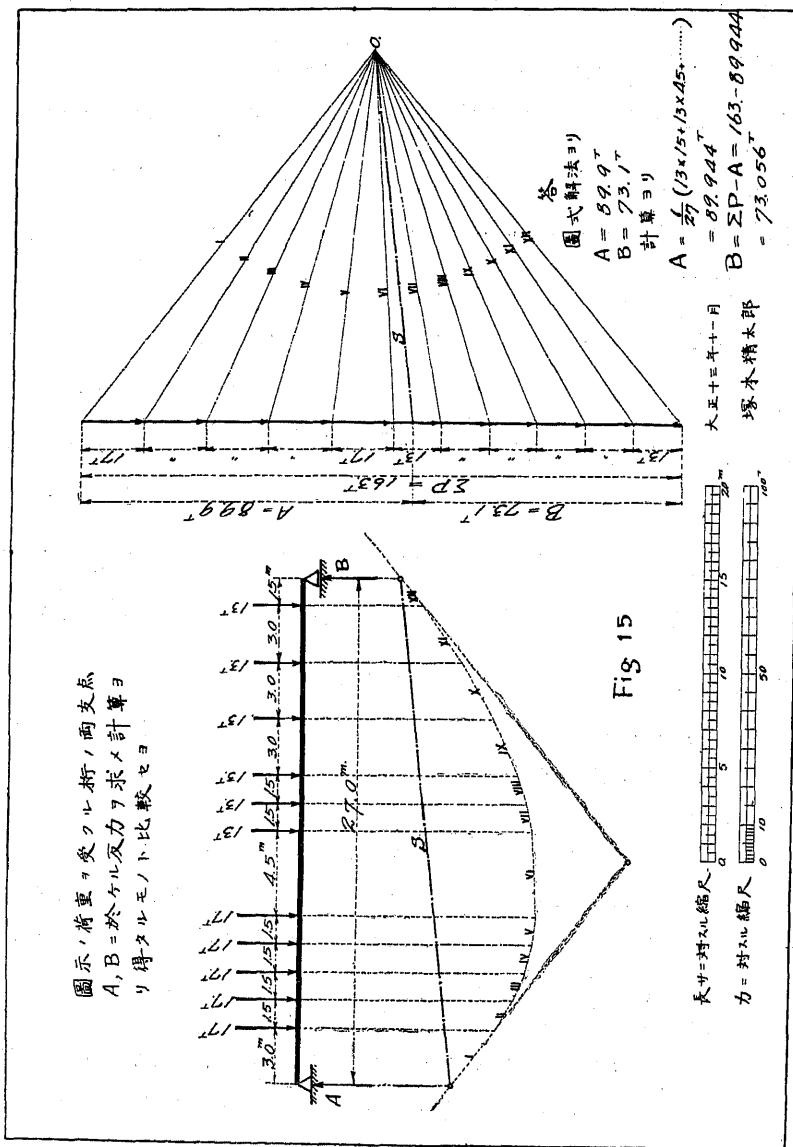


Fig. 15

圖示ノ荷重ヲ變クルル桁ノ両支点
A, Bニ於ケル力及力ヲ求メ計算ヨ
リ得タルモノト比較セヨ

圖式解法ヨリ
A = 89.9T
B = 73.1T
計算ヨリ
A = 1/2 * (3 * 15 + 15 * 45) * ...
= 89.944T
B = ΣP - A = 163 - 89.944
= 73.056T

大正十二年十一月
塚本精太郎

全ク同様ニ計算シ又ハ外力ノ和ガ反力ニ等シキ條件カラ
B = ΣP - A = 163 - 89.944 = 73.056 tons.

第四節 重心ノ圖式算定法

(I). 面積ノ圖式算定法 (Graphical determination of surface area)

1. 三角形 (Triangle)

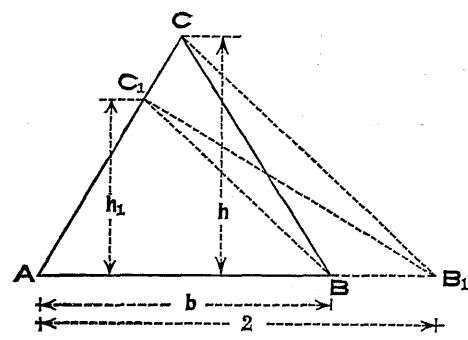


Fig. 16.

三角形面積 = 底 × 高 ÷ 2
デアルカラ今若シ與ヘラレタ
三角形 ABC (Fig. 16 参照)ヲ變形
シテコレト等積ニシテ且ツ底
ノ長ガ 2 (單位長ニツ)ヲ有スル
如キ三角形 AB₁C₁ニ變形シタ
ルモノトスレバ其三角形ノ高
ヲ h₁トシ

$$\text{面積 } F = AB \cdot \frac{h_1}{2} = 2 \cdot \frac{h_1}{2} = h_1$$

從ツテ面積ハ h₁ニテ與ヘラレル事ヲ知ル故ニ今面積ヲ in² 單位
ニテ求メントスルニハ底 AB₁ = 2'ニ採リ求メタ h₁ノ長ヲ inデ
測レバ其單位ヲ in²トシテ面積ヲ與ヘル此作圖ヲ行フニハ先ヅ
底 ABニ沿ヒ單位尺度ニテ AB₁ = 2トシ其端 B₁ヲ頂點 Cニ結ビ B
點カラ B₁Cニ平行線ヲ引ケバ ΔAB₁C₁ = ΔABCヲ得而シテ ΔBCC₁及
ΔBC₁B₁ハ同一底邊ニテ等シキ高ヲ有スルノデアルカラ面積ガ
等シクナルノデアル。

此方法ヲ應用シテ ΔABCヲ等積ニシテ且ツ與ヘラレタル高 h₁
ヲ有スル他ノ三角形ニ變形スルニハ Fig. 17ニ於テ底 ABヨリ h₁

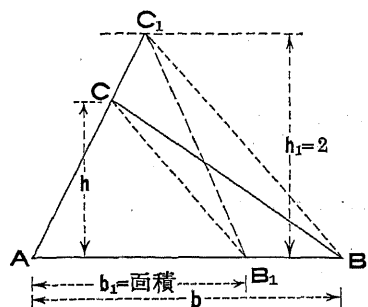


Fig. 17.

ノ距離ニテ AC 邊上ニ一點 C_1 ヲ設ケ $C_1B = 平行 = CB_1$ ヲ引ク而シテ C_1B_1 ヲ結ベバ $\triangle AB_1C_1 = \triangle ABC$ トナル、而シテ此與ヘラレタル高 $h_1=2$ ナラシムレバ求メタル底 AB_1 ハ三角形ノ面積ヲ與ヘル事トナル。

2. 四邊形 (Quadrilateral)

a. 矩形及平行四邊形 (Rectangle & Parallelogram).

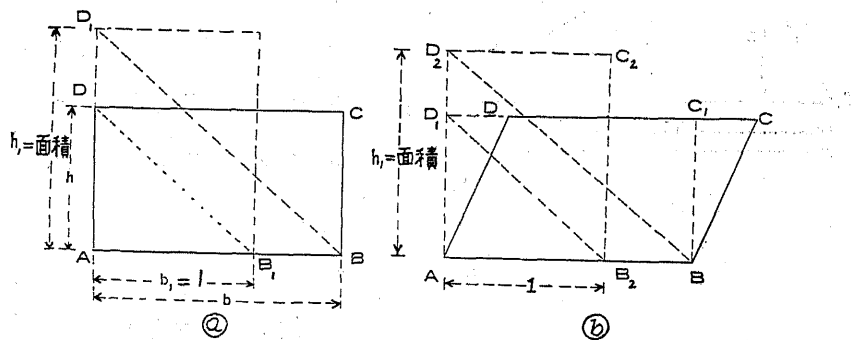


Fig. 18.

ABCD ナル矩形(平行四邊形ハ等積ノ矩形ニ變形シ)ヲ等積ヲ有シ且底 b_1 ヲ有スル如キ他ノ矩形ニ變形スルニハ底邊ニ沿ヒ $AB_1=b_1$ トシ B カラ $B_1D = 平行 = BD_1$ ヲ引ク時ハ D_1 ニテ表ハサレル $AD_1 = h_1$ ハ求ムル矩形ノ高サデアアル、即チ

$$b : b_1 = h_1 : h \quad \therefore b \cdot h = b_1 \cdot h_1$$

$$\therefore AB_1C_1D_1 = ABCD$$

今若シ始メニ置イタ $AB_1=b_1=1$ (單位長) トスレバ

$h_1 = 求ムル矩形ノ面積,$

全ク同様ニ平行四邊形 ABCD ハ等積ノ矩形 ABC_1D_1 ニ變形シタ後 (b) 圖ノ如ク作圖セラレル。

b. 梯形 (Trapezoid). 與ヘラレタ梯形ヲ之ト等シキ面積ヲ有スル平行四邊形ニ變形スルニハ其平行ナラザル邊例ヘバ CB ヲ E ニテ二等分シ E ヲ通り AD ニ平行線ヲ引ケバ $ABCD = AB_1C_1D$ (Fig 19 参照) 次ニ此面積ヲ線長ニテ表ハス作圖ヲ行フニハ前述セル所ト同様ニ底邊 = 1 トナル様ナ矩形ニ

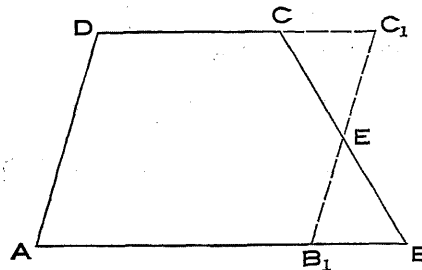


Fig. 19.

變形セバ其高サガ面積ヲ與ヘル。

c. 不規則四邊形. 先ヅコレヲ等積ノ三角形ニ變形スル爲メニ對角線 BD ヲ引キ (Fig. 20 参照) C カラコレニ平行線 CB_1 ヲ引キ D ト B_1 トヲ結ブトキハ $\triangle AB_1D = ABCD$ トナル、何トナレバ $\triangle DCB = \triangle DB_1B$ トナルカラデアアル、斯クテ等積ノ三角形ヲ得タル後三角形ノ求積法トシテ説明シタル所ヲ應用シ $\triangle AB_1D = \triangle AB_2D_2$ ナラシメタ時其高 $h_1=2$ ト置ケバ底 AB_2 ハ求ムル面積ヲ與フ。

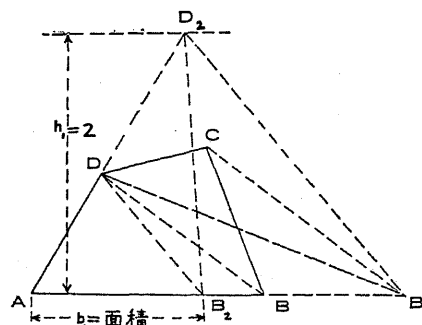


Fig. 20.

3. 多邊形 (Polygon).

多邊形ノ面積ハ四邊形ヲ三角形ニ變形シタト同方法ニテ其邊

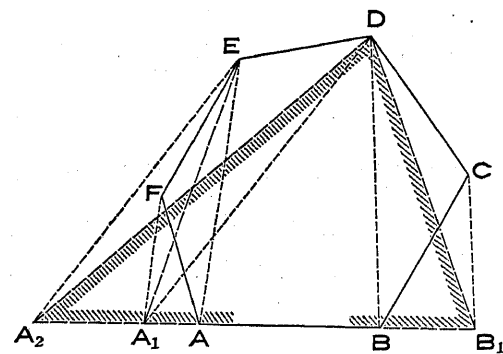


Fig. 21.

數ヲ順次ニ少ナクシ遂ニ三
角形ニ至ラシメテ求メラレ
ル、即チ Fig. 21ニ示ス如キ六
邊形ニ於テハ

$$CB_1 \parallel BD, \triangle BB_1D = \triangle BCD$$

ナラシメ更ニ

$$A_1F \parallel AE, \triangle AA_1E = \triangle AFE$$

ナラシメル、同様ニシテ最後

ニ求メタル

$$\triangle A_2B_1D = ABCDEF.$$

三角形ノ求積ハ前述シタ方法ニ據ル。

二ツノ直線ノ間ニアル折線 ABCD ニテ形成セラレタ圖形ヲ A
ヲ通ズル直線ニテ其左右相等シキ面積
ヲ保有スル如ク分割センニハ先ヅ

$$CC_1 \parallel BD, \triangle BC_1D = \triangle BCD$$

ナラシメ全ク同様ニシテ

$$BD_1 \parallel AC_1, \triangle AD_1C_1 = \triangle ABC_1$$

トスレバ直線 AD₁ ハ求ムルモノデアル。

4. 扇形及弓形 (Circular sector & Segment)

扇形 OAB = 於テ弧長 AB = b トスレバ

$$\frac{\text{扇形 OAB}}{\pi r^2} = \frac{b}{2\pi r}$$

$$\therefore \text{扇形 OAB} = \frac{1}{2} r \cdot b \dots \dots \dots (3)$$

此關係ヨリ明カナル如ク扇形面積ハ底 b 高 r ナル三角形ニテ表

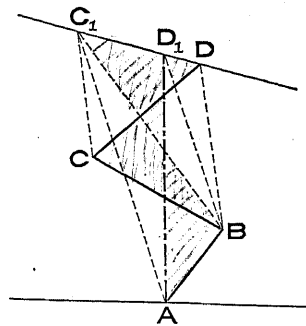


Fig. 22.

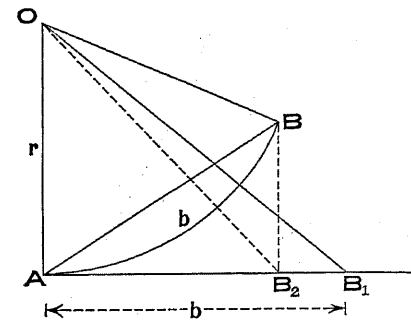


Fig. 23.

ハシ得ル、故ニ A = 於テ弧 = 切線
ヲ引キ此切線上ニ精密ニ弧長ヲ
AB₁ = b ト置ク、斯クテ求メラレタ
△AOB₁ ガ扇形 OAB ノ面積ヲ表ハ
ス。

弓形 AB ノ面積ヲ求メンニハ
OA = 平行ニ BB₂ ヲ引キ OB₂ ヲ

結ベバ △AOB ト △AOB₂ トハ相等シ、故ニ扇形カラ △AOB ヲ引イタ
残りノ弓形 AB ハ △B₁B₂O ニテ與ヘラレルノデアル。

モシ圓弧ガ非常ニ扁平ナル時ニハ此曲線ヲ拋物線ト見ルモ差
支ナク拋物線形ハ次ノ如クシテ矩形又ハ三角形ニ直シ得ル、即チ

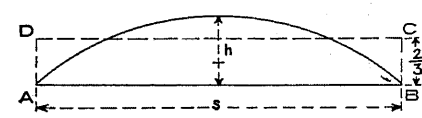


Fig. 24.

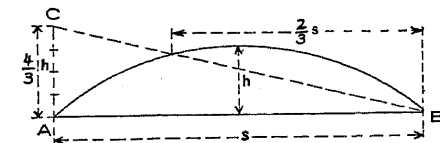


Fig. 25.

Fig. 24ニ示ス如ク同一底ヲ有シ高ガ拱矢 (Rise) ノ $\frac{2}{3}$ ナル矩形又ハ
Fig. 25ノ如ク高ガ拱矢ノ $\frac{4}{3}$ ナル三角形ト見テ充分精密デアル。

[II] 重心ノ圖式算定法 (Graphical determination of the center of gravity).

1. 三角形。

任意邊 AB ノ中點 D ヲ頂點 C = 結ベバ此直線 CD ノ上ニ重心
ノ存スル事ヲ知ル、即チ CD ハ一ツノ重心線 (Gravity line) デアル、同
様ニ又 AC 邊ノ中點 E ヲ對頂 B = 結ベバコレモ一ツノ重心線デ
アル、故ニコノ二ツノ重心線ノ交點 S ハ求ムル所ノ重心デアル。
又ハ一本ノ CD 又ハ BC ノミニテ重心ノ位置ヲ知ル事ヲ得ル、即

チ重心ハ底カラ高サノ $\frac{1}{3}$ ノ點ニ存スル事ヲ知ルガ故ニ CD 又ハ BE ヲ三等分シタ點 S ガ求ムル重心デアル。

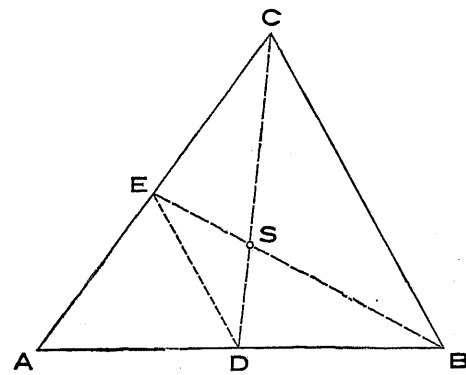


Fig. 26.

2. 四邊形.

其整正ナルモノ即チ平行四邊形、矩形及正方形ハ何レモ其二ツノ對角線ヲ以テ二ツノ等シキ三角形ニ分チ得ルガ故ニ此二ツノ重心線ノ交點ニヨリテ重心ガ與ヘラレル。

梯形. Fig. 27 ニ於ケル梯形 ABCD ノ平行二邊 AB 及 CD ノ中點 E 及 F ヲ結ベバ EF ハ一ツノ重心線デアル、他ノ重心線ハ次

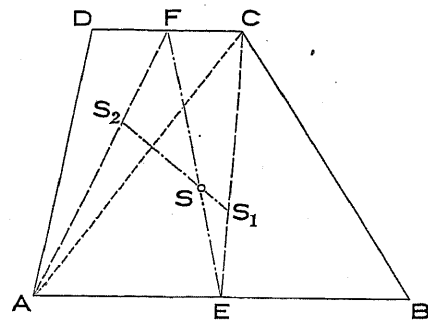


Fig. 27.

ノ如クニシテ求メラレル、梯形ヲ對角線 AC ニテ二ツニ切ツタモノトセバ其各三角形 ABC 及 ACD ノ重心ハ前述ノ方法ニテ容易ニ求メラレル、今求メタ重心ヲ S₁ 及 S₂ トセバ S₁ ト S₂ トヲ結ブ線ハ一ツノ重心線トナル、故ニ前ノ EF ナル重心線ト S₁S₂ ナル重心線トノ交點ハ求ムル重心 S デアル。

更ニ梯形ニ於ケル簡單ナル他ノ解法ヲ説明センニ茲ニ與ヘラレタル梯形ノ平行邊 AB 及 CD ヲ各反對ノ方向ニ延長シ AB ヲ右ヘ長 CD=b' ダケ、又 CD ヲ左ヘ長 AB=b ダケ延長シ求メタ二點 G

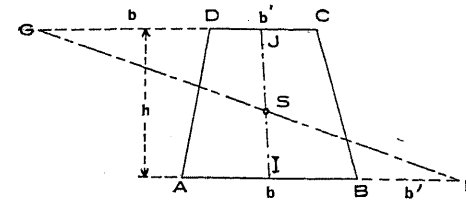


Fig. 28.

及 F ヲ結ビコノ線ト前述シタ AB 及 CD ノ中點 I 及 J ヲ結ブ重心線トノ交點ガ求ムル重心デアル。

此事實ヲ證明スルタメ AB, CD ナ

左右共ニ延長シ Fig. 29 ニ示ス如ク採リ GF, EH ヲ結ビ其交點ヲ S トシ S ガ AB 邊トノ隔リヲ y₁, CD 邊トノ隔リヲ y₂ トス、今梯形ヲ對角線 AC ニヨツテ二分スレバ出來タ二ツノ三角形ハ面積 $\frac{b'h}{2}$ 及 $\frac{bh}{2}$

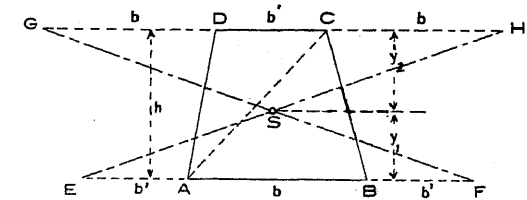


Fig. 29.

チ有ス、故ニ梯形 ABCD ノ底 AB ニ對スル力率ハ

$$M = \frac{b \cdot h}{2} \cdot \frac{h}{3} + \frac{b' \cdot h}{2} \cdot \frac{2h}{3} = \frac{b+2b'}{6} h^2$$

從ツテ其重心ノ位置ハ此力率ヲ面積 $F = \frac{b+b'}{2} h$ テ割ツテ求メラレ底邊ヨリ

$$\left. \begin{aligned} y_1 &= \frac{1}{3} \frac{b+2b'}{b+b'} h \\ y_2 &= \frac{1}{3} \frac{2b+b'}{b+b'} h \end{aligned} \right\} \dots\dots\dots (4)$$

從ツテ

$$\frac{y_1}{y_2} = \frac{b+2b'}{2b+b'}$$

ヲ得、コレハ S 點ガ重心ナルタメノ $\frac{y_1}{y_2}$ ノ比デアル、然ルニ Fig. 29 ニ於テ發見シタ S 點ノ位置ハ明カニ此條件ニ適合スル、故ニ S ハ求ムル重心デアル。

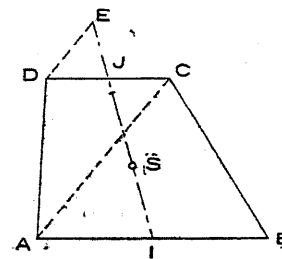


Fig. 30.

梯形ノ重心算定ノ他ノ簡單ナル方法ハ Fig 30 ニ示ス如ク對角線 AC ニ平行ニ D ヲ通ズル線ヲ引キ其平行邊 AB 及 CD ノ中點 I 及 J

ヲ結ブ重心線トノ交點ヲEトセバ $IS = \frac{1}{3}IE$ ナル如キS點ハ求ムル梯形ノ重心デアアル。

此事實ヲ證明センニハ Fig. 31ノ如ク $EF \parallel AC, CG \parallel IJ$ ヲ引ケバ $\triangle IEF$ ト $\triangle ACG$ トニ於テ

$$h : \left(\frac{b}{2} + b'\right) = h' : \left(\frac{b}{2} + \frac{b'}{2}\right)$$

$$\therefore h' = \frac{b+2b'}{b+b'} h$$

$$y_1 = \frac{1}{3} h' = \frac{1}{3} \frac{b+2b'}{b+b'} h$$

コレ前ニ求メタ重心ノ位置 y_1 ヲ示ス(4)式ト一致スルモノデアアル故ニSハ求ムル重心デアアル。

不規則四邊形ノ重心ヲ求メンニハ Fig. 32ニ示ス如ク對角線ACニテニツノ三角形ニ分チ其重心ヲ求メテ夫々 S_1 及 S_2 トスレバ S_1 ト S_2 トヲ結ブ線ハ一ツノ重心線トナル全ク同様ニ他ノ對角線BDニテニツ

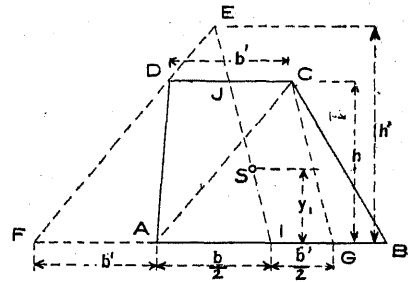


Fig. 31.

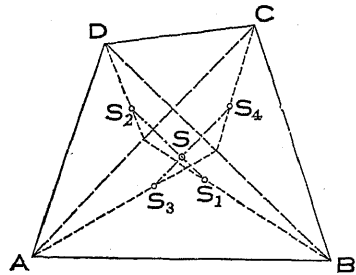


Fig. 32.

ノ三角形ニ割リ其各々ノ重心ヲ S_3 及 S_4 トスレバ S_1S_2 及 S_3S_4 ノ二線ノ交點ハ求ムル重心Sデアアル。

3. 多邊形。
多邊形ノ重心ヲ求メンニハ對角線デコレヲ數多ノ三角形ニ分チ其三角形ノ重心ヲ既ニ説明シタ方法デ決定スル、次ニ各三角形ノ面積ヲ各其重心ニ於テ任意方向ニ働クカト考ヘテ力邊形及平衡多邊形ヲ作レバ其多邊形ノ兩端邊ノ交點ヲ通ジテ其方向ニ全面積

ノ三角形ニ割リ其各々ノ重心ヲ S_3 及 S_4 トスレバ S_1S_2 及 S_3S_4 ノ二線ノ交點ハ求ムル重心Sデアアル。

3. 多邊形。

多邊形ノ重心ヲ求メンニハ對角線デコレヲ數多ノ三角形ニ分チ其

ガ働ク事ヲ知ル、コレ即チ一ツノ重心線デアアル、第二ノ重心線ハ各三角形ノ面積ヲ其重心ニ於テ他ノ方向ニ働ク平行カト考ヘレバ同様ニシテ求メラレ此見出シタニツノ重心線ノ交點ガ其多邊形

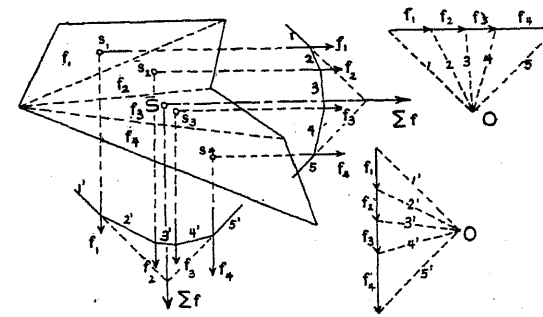


Fig. 33.

ノ重心ヲ與ヘルノデアアル。

Fig. 33ハ前述ノ方法デ不規則六邊形ノ重心ヲ求メタノデアアル、圖上ニテハ便宜上一ツノ平行カヲ垂直、他ヲ水平ニ置キアルモコレハ何レノ方向デモヨ

イノデアアル、三角形一個一個ノ面積ハ計算カラモ又圖式カラモ求メルコトガ出來ル。

4. 複成形 (Compound figures)

複成形ノ場合ニハ先ヅ面積ノ容易ニ計算出來且ツ重心ノ定メ

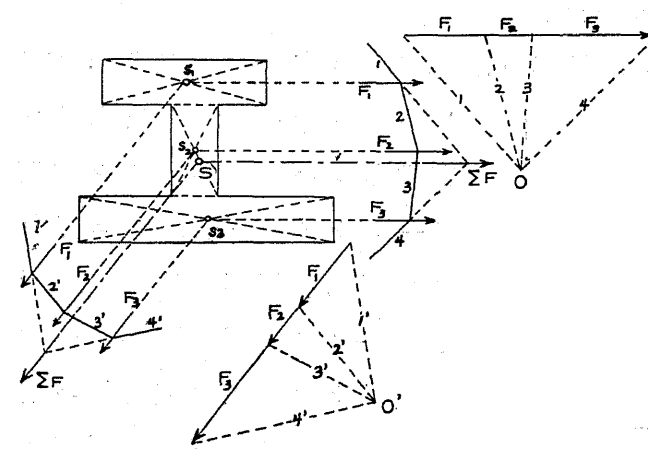


Fig. 34.

易イ簡單ナル形ニ分割スル、然ル後各面積ヲ夫々ノ重心ニ作用スル平行カト考ヘテ力邊形及索邊形ニヨツテニツノ重心線ヲ求メ其交點トシテ重心ヲ定メルノデアアル。

(Fig. 34 參照)

5. 扇形及弓形

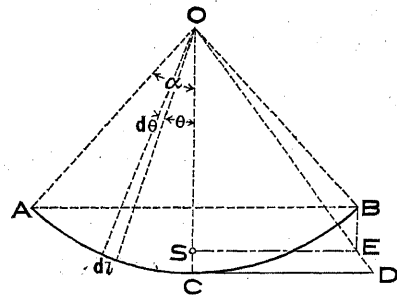


Fig. 35.

圓弧(Circular arc)ノ重心ヲ求ムル
 場合ヲ先ヅ説明センニ Fig. 35ニ於
 テ圓弧 CB ノ長サヲ直線 CD ノ長
 サニ等シク採リ ODヲ結ブ,次ニ BE
 線ヲ OCニ平行ニ引キ Eヲ通ジテ
 ESヲ ABニ平行ニ作レバ其 OC 線

トノ交點 Sハ求ムル重心デアアル。

[證明] 圓弧ノ極微長 dlヲ探ツテ考ヘ其 O 點ニ對スル力率ハ $r \cdot \cos\theta \cdot dl = r^2 \cdot \cos\theta \cdot d\theta$
 デアル故ニ全圓弧ニ對シテハ之ヲ積分シ

$$\text{靜力率} = 2 \int_0^\alpha r^2 \cdot \cos\theta \cdot d\theta = 2r^2 \sin\alpha$$

又今圓弧長 AB=2lトセバ重心ノ位置 OS=yハ

$$y = \frac{2r^2 \sin\alpha}{2l} = \frac{r^2 \sin\alpha}{l} \dots \dots \dots (5)$$

然ルニ前掲ノ作圖方法ニ據レバ

$$y = OS = \frac{SE \cdot OC}{CD} = \frac{r \cdot \sin\alpha \cdot r}{l} = \frac{r^2 \sin\alpha}{l}$$

故ニ Sハ求ムル圓弧ノ重心ヲ示ス。

扇形ノ重心ヲ求メンニ扇形ハ頂點ヲ Oニ有スル小三角形 Oab

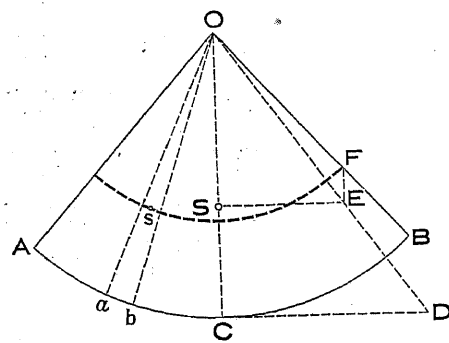


Fig. 36.

ノ集リト考ヘル事ガ出來且ツ
 其重心 sハ Oヲ中心トシ半徑
 ヲ $\frac{2}{3}r$ トスル圓弧ノ上ニ存在
 スルガ故ニ扇形ノ重心ハ結局
 半徑 $\frac{2}{3}r$ ノ圓弧ノ重心ト一致
 スル事トナル,從テ其解法ハ前
 述圓弧ニ於ケルト全ク同様ニ
 行フコトヲ得ルノデアツテ

Fig. 36ニ示ス如ク先ヅ弧 CBノ長サヲ直線 CDニ等シク取リ OD
 ヲ結ブ,次ニ OBヲFニ三等分シFヨリ OCニ平行線 FEヲ引イ
 テ其 OD線ト交ル點ヲEトシEヨリ OCニ垂線ヲ下シテSヲ得
 ルトセバSハ求ムル重心デアアル。

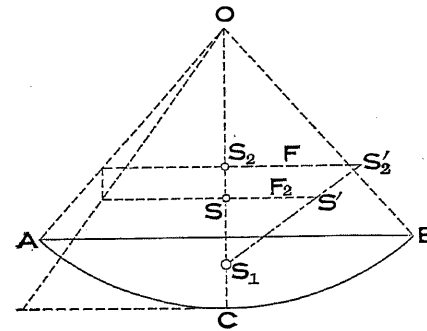


Fig. 37.

弓形ノ重心ヲ求メンニハ Fig.
 37ニ於テ先ヅ扇形 OACBノ重心
 S,其面積 F,三角形 OABノ重心 S2
 其面積 F2ヲ求メタル後 OC線ニ
 直角ナル方向ニ於テ S2S'2=F(扇
 形全面積), SS'=F2(三角形面積)ヲ
 置キ S2/S'ヲ結ビテコレヲ延長シ
 OC線トS1ニ交ラシムレバS1

ハ求ムル弓形ノ重心トナル。

何トナレバ今 S1ヲ求ムル弓形ノ重心トスレバ扇形ノ重心 Sニ働ク扇形總面
 積 Fハ三角形重心 S2ニ働ク三角形面積 F2ト弓形重心 S1ニ働ク弓形面積 F1トノ
 合成力ニ相當スル故ニ今此等面積ノ S1點ニ對スル力率式ヲ立テレバ

$$F \times S_1 S = F_2 \times S_1 S_2$$

$$\therefore \frac{S_1 S}{F_2} = \frac{S_1 S_2}{F}$$

然ルニ作圖ヲ行ツタ結果ヲ見レバ此條件ガ満足セラレ居ルヲ見ル故ニ S1ハ求
 ムル弓形ノ重心デアアル。

弓形ガ扁平ナル場合ニハ之ヲ拋物線形ト考ヘテ差支ナキ事ハ

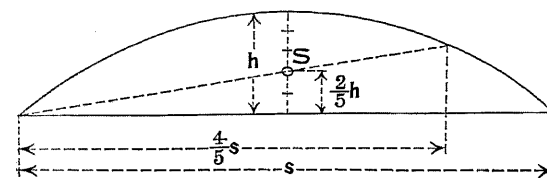


Fig. 38.

前述シタ通りデアアル,然ル
 時ハ拋物線形ノ重心ハ其
 拱矢 hノ $\frac{2}{5}$ ニアル事ヲ知
 ルガ故ニ Fig. 38ニ示ス如
 ク作用シテ其重心ヲ求ム

圖示 堰堤断面: 就其断面積及重心ヲ求ムル事

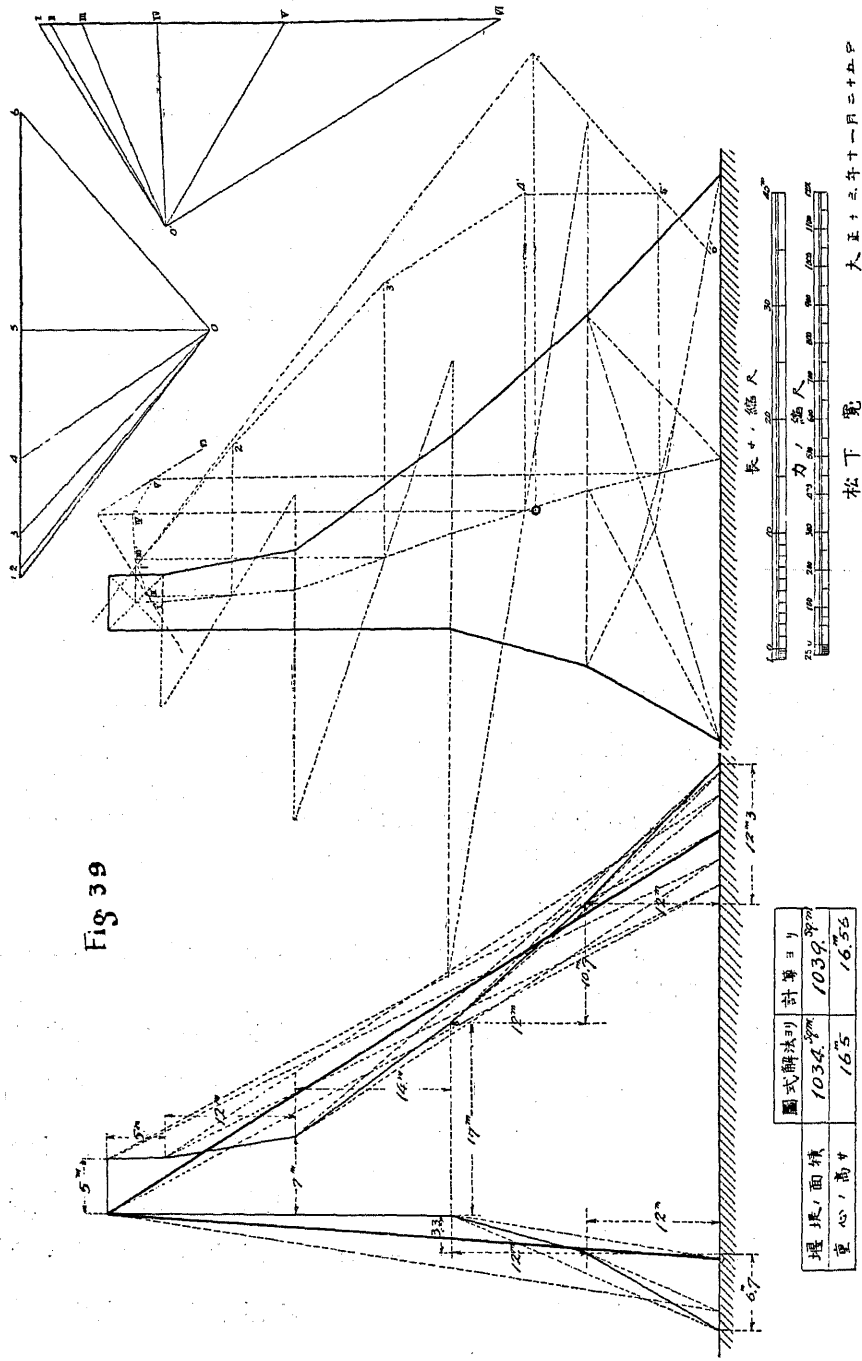


Fig. 39

大正十三年十一月二十五日

松下寛

ル事ヲ得ル。

例題第二 Fig. 39 = 示ス堰堤断面ノ面積及重心ヲ求ム。

答。 Fig. 39 参照。

左圖ハ面積ヲ求ムル作圖, 右圖ハ重心ヲ決定スル作圖デアツテ其説明ハ之ヲ略スル, 讀者就イテ其詳細ヲ檢セラレタイ。

第五節 靜力率 (Statical Moment of Forces)

一ツノ力 P ノ或中心或ハ或極ニ對スル靜力率 (Statical moment)

トハ其力 P ト其中心カラ力迄ノ垂直距離 e トノ積ヲ意味スル, 此力率ヲ M トセバ

$$M = P \cdot e \dots\dots\dots (6)$$

即チ幾何學的ニハ力 AB ヲ底トシ其中心 C ヲ頂點トスル三角形 ABC ノ面積ノ二倍ニ相當スル, 而シテ其力率ノ方向 (Sense)

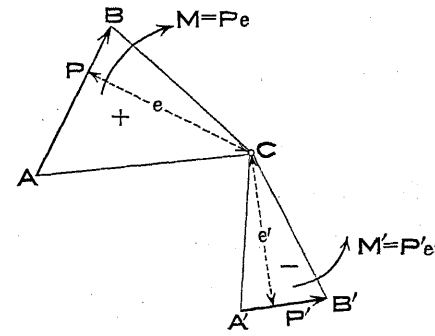


Fig. 40.

ハ力ノ方向カラ自ラ定マル, 例ヘバ Fig. 40 = 示シタ P ナル力ト P' ナル力トノ力率ハ其方向ニ於テ相反スル, 何トナレバ P ノ力率 P.e ハ右廻リ (Clockwise) デアツテ普通正トスベキニ對シ P' ノ力率 P'.e' ハ左廻リ (Counterclockwise) デアルカラ負ノ力率デアアル。

定理, 一平面内ニ働ク幾多ノ力ガ同平面内ノ或點ニ關スル力率ノ和ハ其合成力ノ同點ニ關スル力率ニ等シ。

此事實ヲ證明スル爲メニ Fig. 41 = 於テ P₁, P₂ ノ二力ヲ考ヘ其合成力ヲ R. 力率ノ中心ヲ C トス, 今此二力 P₁, P₂ ノ交點 A ヲ中心 C = 結ビ AC 線ニ直角 = CF ヲ引キ此 CF 線ヘ力 P₁, P₂ 及 R ヲ投射シタモノトスレバ

CE = P₁ノ投影 = P₁'

EF = P₂ノ投影 = P₂'

CF = Rノ投影 = R'

P₁ノCニ對スル力率 M₁ = 2.ΔABC = AC.P₁'

P₂ノCニ對スル力率 M₂ = 2.ΔADC = AC.P₂'

RノCニ對スル力率 M = 2.ΔAGC = AC.R'

而シテ R' = P₁' + P₂' ナル事ハ圖上ニ明カナル故ニ

$$M = AC.R' = AC(P_1' + P_2') = M_1 + M_2.$$

此定理ヲ應用シテ與ヘラレタル多クノ力ノ力率ヲ求メンニハ先ヅ此多クノ力ノ合成力ヲ求メ其合成力ガ與ヘラレタル中心ニ對スル力率ヲ求ムレバヨイノデアアル。

(I). 同一面内ニアル數多ノ力ノ静力率ヲ求ムル事。

茲ニ與ヘラレタル四面力 P₁, P₂, P₃ 及 P₄ノ中心 Cニ對スル静力

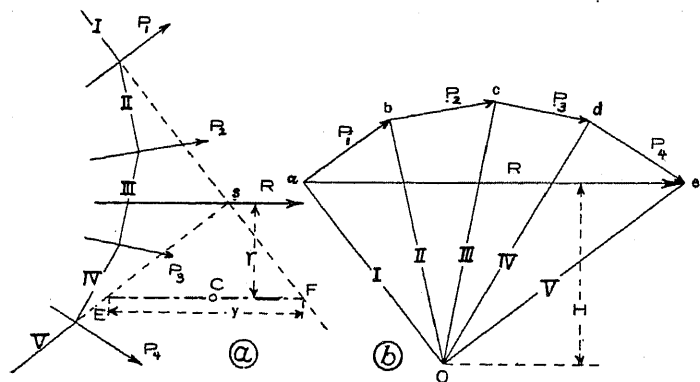


Fig. 42.

率ヲ求メントスル場合ニハ先ヅ此四力ノ合成力ヲ求メネバナラス、即ち Fig. 42 (a)ノ力多角形ニ於ケル合成力 Rニ垂直ニ Hナル極距 (Pole distance) ヲ有スル任意ノ極 Oヲ設ケ

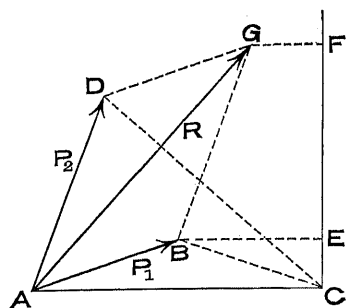


Fig. 41.

テ極射線ヲ引キ之ニ相應シテ (a) 圖ニ平衡多邊形ヲ作レバ其第一邊 Iト最後ノ邊 Vトノ交點 Sヲ通ジテ合成力 Rノ作用スル事ヲ知ル。

斯クテ Rノ位置及方向ガ求メラレタナラバ中心 Cカラノ垂直距離 rガ容易ニ求メラレ從ツテ Cニ對スル合成力ノ力率ハ

$$M_C = R.r. \dots\dots\dots (6')$$

此値ハ計算ニヨリテモ又ハ次ノ如ク圖式的ニモ容易ニ求メラレ

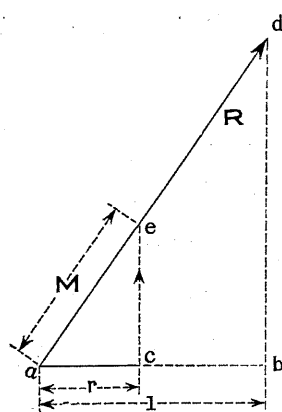


Fig. 43.

ル、即チコレヲ

$$\frac{M_C}{r} = \frac{R}{1}$$

ナル關係ニ置キ Fig. 43ニ示ス如ク aニ交ル二線ノ上ニ ad = R, ab = 1, ac = rト置ケバ ceナル線ヲ bdニ平行ニ引イテ得ラルル aeナル長ハ

$$ae = \frac{ad \cdot ac}{ab} = \frac{R \cdot r}{1} = M_C.$$

以上説明シタ力率ノ計算方法ハ次ノ如

ク行フガ一層便利デアアル、即チ Fig. 42ニ於テ與ヘラレタル中心 Cヲ通ジテ合成力 Rニ平行線ヲ引キコレガ平衡多邊形ノ最初及最後ノ邊ノ間ニ插マレタ長 EF = yトス、然レバ (a) 圖ト (b) 圖トヲ比較シテ ΔsEF ∝ ΔOaeトナル故ニ

$$r : y = H : R$$

$$\therefore H.y = R.r$$

然ルニ R.r = M_C ナルガ故ニ中心 Cニ對スル四力ノ力率ハ

$$M_C = H.y \dots\dots\dots (7)$$

式中 H = 合成力 R ヨリ極 O 迄ノ極距 (Pole distance).

此法ノ便利ナル點ハ極 O ハ任意ニ選ビ得ル故ニ極距 H ヲ初メカラ整数 (Round number) ニ採リ置ク事ガ出來ル點デアアル, モシ初メニ $H=1$ ト置イテ作圖ヲ行ツタナラバ力率 $M=y$ トナリ y 自身ガ力率ヲ示ス事トナル。

尙注意スベキハ R, r ニテ力率ヲ計算スル場合ニ R ハ力ノ單位ニテ測リ r ハ長サノ單位ニテ測ラネバナラヌガ H, y ナル式ニテ力率ヲ求メル場合ニハ H 及 y ノ内何レカ一方ヲ力ノ單位ニテ他ヲ長サノ單位ニテ測レバヨイノデアアル。

求メ得タル力率ノ方向ハ合成力 R ノ位置及方向ニ依ツテ定マル, Fig. 42 ニ示ス四力ノ合成力 R ハ④圖ノ如ク s 點ヲ通ジテ右ニ向フガ故ニ中心 C ニ對シテハ右廻リ即チ正力率トナル。

尙作圖ニ用ヒラレタ縮尺ニ就イテ更ニ説明ヲ加ヘテ置カウ, 今力ヲ圖示スルニ力ノ縮尺トシテ假ニ $1cm=a\ ton$ ヲ表スモノトスルトキハ圖上ニ於ケル長 $s_1\ cm$ アル線分ハ $as_1\ ton$ ヲ表ス事トナル, 全ク同様ノ事實ハ長サニ就イテモ云フ事ガ出來ルノデアツテ長サノ縮尺トシテ $1cm=b\ m$ ヲ採レバ圖上長 $s_2\ cm$ アル線分ハ $bs_2\ m$ ヲ表ス事トナル, 從ツテ Fig. 42 ニ於テ今力ノ縮尺トシテ $1cm=a\ ton$, 長サノ縮尺トシテ $1cm=b\ m$ ヲ採ルトキハ其結果ヲ $M=R.r$ ナル式ニテ計算スル場合 R ノ圖上長ガ $s_1\ cm$ アリ r ノ圖上長ガ $s_2\ cm$ アルトキハ其實際ノ數値ハ $as_1\ ton$ 及 $bs_2\ m$ デアルガ故ニ解答ハ $as_1 \times bs_2 = abs_1s_2\ ton-m$ トナル筈デアアル, 更ニ Fig. 43 ノ如キ作圖ヲ行フニ當ツテ力ノ縮尺 $1cm=a\ ton$, 長サノ縮尺 $1cm=b\ m$ ヲ採ルモノトシ作圖ニ於テ ac (Fig. 43 參照) = $1cm$ ト置クトキハ最後ニ求メタ力率 M ニ對スル縮尺ハ

$1cm=ab\ ton-m$ トナリ圖上 M ノ長サガ $s\ cm$ アレバ其數値ハ $abs\ ton-m$ トナルモノデアアル。

$M=H.y$ ノ式ヲ用ヒテ力率ノ計算ヲ行フニ當ツテモ全ク同様ノ關係ガ成立スルノデアツテ力ノ縮尺 $1cm=a\ ton$, 長サノ縮尺 $1cm=b\ m$ ヲ採用シタモノトシ極距 H ノ圖上ノ長ヲ $c\ cm$ ニ置イタトキ求メタ y ノ長ガ $s\ cm$ アツタトスレバ求ムル力率ハ $abs\ ton-m$ デアツテ H 及 y ノ何レカ力ノ縮尺デ他ヲ長サノ縮尺デ測ツタトスルモ答ハ同ジデアアル, 斯クノ如キ場合圖式解法ニ於テ一般ニ採用サル縮尺ノ採リ方ハ H 及 y ヲ力及長ノ別々ノ縮尺デ測ツテ掛ケ合ス代リニ直接力率ニ對スル縮尺 (y ノ長ヲ測ツテ力率ヲ求ムル) トシテ $1cm=abc\ ton-m$ ト採ルノデアツテ尺度ヲ用ヒテ最後ノ y ノ圖上長 $s\ cm$ ヲ測レバ直チニ求ムル答 $M=abs\ ton-m$ ガ得ラレル, 以上ノ説明ニ於テハ單位トシテ cm, ton, m 等ヲ假定シタガコレハ勿論他ノ如何ナル單位ヲ用フルモ全ク同ジ譯デアアル。

(II). 同一面内ニアル平行力ノ力率ヲ求ムル事。

(I) = 説明シタ方法ハ平行力ノ力率ヲ求ムル場合ニ適用スル

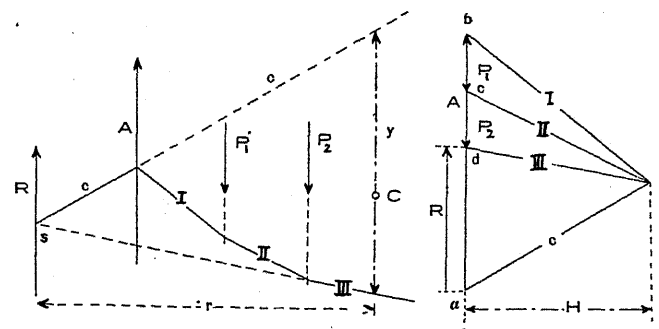


Fig. 44.

事ヲ得, 例ヘバ平行力 A, P_1 及 P_2 ノ三力ノ中心 C ニ對スル力率ヲ求メントスル場合ニハ先ヅ示力線 $abcd$ ヲ引キ合成力ノ量 $ad=R$ ヲ知ル, 此 ad ナル合成

力ニ對シ極距Hヲ有スル極Oヲ擇ビOカラ各力ノ端へ極射線
 c,I,II,IIIヲ引ク此cナル極射線ハ示力線ノ始點aニ引カレIII
 ハ力線ノ終點dニ引カレタモノトスレバ此極射線ニ平行ニ引イ
 テ作ツタ平衡多邊形ニ於テc及IIIガ兩端邊トナリRニ平行ニ
 Cヲ通ジテ引イタ直線ガ此兩端邊間ニ挾マレタ長ヲyトスレバ

$$M_C = H \cdot y \dots \dots \dots (7)$$

求メタモノハ正力率デアル何トナレバ此三力ノ合成力ハ量ハad
 ナルガ其位置ハ端邊cトIIIトノ交點sヲ通ジテ上方ニ働クガ
 故ニ中心Cニ對シテハ右廻リ即チ正デアル。

此解法ヲ應用スル時ハ次ニ述ベル如キ極メテ重要ナル問題ヲ
 解クコトガ出來ル。

今 P_1, P_2, \dots, P_6 ノ如キ平行力ガ與ヘラレタ場合此等ノ全體ノ力ガ
 或一ツノ中心Cニ對スル力率及ビ其内ノ或力例ヘバ P_1, P_2, P_3 ダケ
 ノ力ガ他ノ中心 C_1 ニ對スル力率ヲ同一ノ圖上ニ求ムル事ガ出來
 ル。

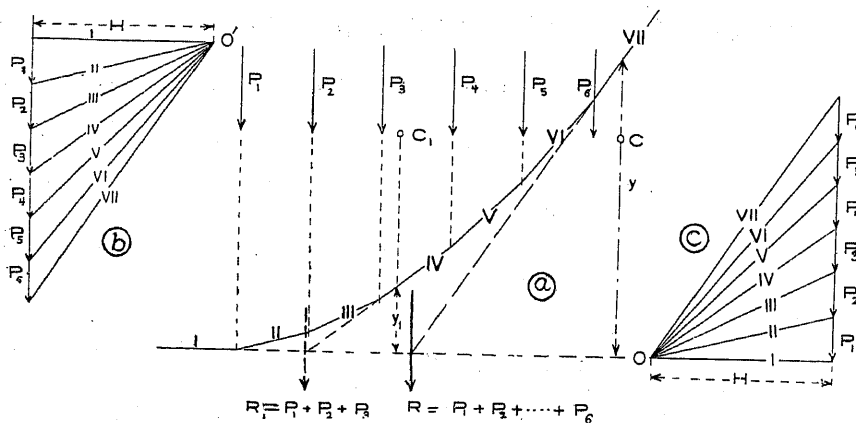


Fig. 45.

先ヅ Fig. 45 (b) 又ハ (c) ノ如ク與ヘラレタ力 P_1, P_2, \dots, P_6 ヲ其順序ニ置
 キ (b) 圖ニテハ上ヨリ下ニ順次ニ, (c) 圖ニテハ下ヨリ上ニ順次ニ) 任
 意ノ極距Hヲ以テ第一極射線ガ力ノ方向ニ直角トナル様ニ極O
 ヲ採リ (即チ (b) 圖ニ於テハO, (c) 圖ニ於テハO') 其極射線ニ平行ニ平
 衡多邊形ヲ作り其第一邊ヲ延長スル次ニ與ヘラレタル力率中心
 Cヲ通ジテ力ニ平行ナ線ヲ引キ, コレガ兩端邊I及VIIノ間ニ挾
 マレタ長ヲyトスル然レバ P_1, P_2, \dots, P_6 ナル全部ノ力ノC點ニ對ス
 ル力率ハ

$$M_C = -H \cdot y$$

負號ヲ採レルハRナル力ガ下向ニ且ツC點ノ左方ニ働キ左廻リ
 ノ力率トナルカラデアル。

同様ニ P_1, P_2, P_3 ナル三力ガ C_1 點ニ對スル力率ノ和ハ

$$H_{C_1} = -H \cdot y_1$$

上述ノ結果ハ次ノ如ク云ヒ表ハシ得ル。

「平行力ニ對スル平衡多邊形ニ於テ其第一邊ヲ力ノ方向ニ直角
 ニ作り之ヲ横距軸トスル時ノ其多邊形ニヨツテ生ズル縦距ハ
 其縦距線上ニ存スル力率中心ニ對スル其縦距ヨリ前方ニアル
 力ノ力率ニ比例ス。」

第 六 節

空間ニ於ケル力ノ靜力率及合成力

(I). 平行力ノ靜力率及合成力。

平行力 P_1, P_2, \dots, P_6 ガ空間ニ存在スル時其力ノ方向ニ直角ナル平
 面Eヲ假定シ此等ノ平行力ハ此面ヲ夫々 A_1, A_2, \dots, A_6 ニ於テ切合フ

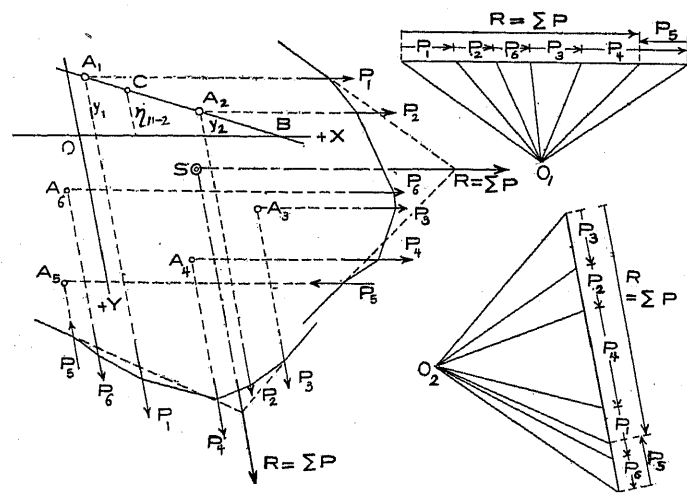


Fig. 46.

ナル力ハ E 平面ヲ A_m 點ニテ切ルモノト考へ其 A_m 點ノ座標ガ (x_m, y_m) ニテ與ヘラレル時ハ

$$P_m \cdot x_m, P_m \cdot y_m$$

ヲ X 及 Y 軸ニ對スル P_m ノ靜力率 (Statistical moment) ト云フ、而シテ與ヘラレタル力 P_1, P_2, \dots, P_6 ノ合成力 R ガ E 平面ヲ切ル點 S ノ座標ヲ ξ, η トスレバ此合成力ト各個ノ力トノ力率ノ關係ハ次式ニテ與ヘラレル。

$$\left. \begin{aligned} R \cdot \eta &= P_1 y_1 + P_2 y_2 + \dots + P_6 y_6 = \Sigma P \cdot y \\ R \cdot \xi &= P_1 x_1 + P_2 x_2 + \dots + P_6 x_6 = \Sigma P \cdot x \end{aligned} \right\} \dots \dots \dots (8)$$

即チ任意軸ニ對スル合成力 R ノ力率ハ與ヘラレタル各個ノ力ノ其軸ニ對スル力率ノ和ニ等シ。

此證明ハ容易ニ次ノ如ク行ハレル。先ヅ與ヘラレタル多クノ力ノ内ノ何レカ二カ例ヘバ P_1, P_2 ノ存在スル平面 E (此平面ハ E 平面即チ紙面ニ直角ナル) ヲ考へ此二力ヲ合成シテ C 點ニ働ク R_{1-2} ヲ得タモノトシ E' 平面ガ X 軸ヲ切ル點ヲ B トセバ此點ニ對スル R_{1-2} ノ力率ハ勿論同點ニ對スル P_1 及 P_2 ノ力率ノ和ニ等シ

モノトス、即チ Fig. 46 ニ於テ紙面ガ此平面ニ相當シカハ紙面ニ直角ニ作用スルモノト假定スル、今 P_m (m ナル文字ヲ附シテ一般的ノ意ヲ表ス)

キガ故ニ

$$R_{1-2} \cdot \overline{CB} = P_1 \cdot \overline{A_1B} + P_2 \cdot \overline{A_2B}$$

從ツテ今此 C 點ノ縦距ヲ圖示ノ如ク η_{1-2} トスレバ明カニ

$$R_{1-2} \cdot \eta_{1-2} = P_1 \cdot y_1 + P_2 \cdot y_2$$

次ニ今求メタ R_{1-2} ト P_3 ナル力トヲ含ム平面ニ就イテ此二力ヲ合成スレバ R_{1-3} ヲ得ベク更ニ R_{1-3} ト P_4 トヲ合成シテ P_{1-4} ヲ得、順次カクノ如ク進メバ次式ノ關係ヲ得ル。

$$R_{1-3} \cdot \eta_{1-3} = R_{1-2} \cdot \eta_{1-2} + P_3 \cdot y_3 = P_1 \cdot y_1 + P_2 \cdot y_2 + P_3 \cdot y_3$$

$$R_{1-4} \cdot \eta_{1-4} = R_{1-3} \cdot \eta_{1-3} + P_4 \cdot y_4 = P_1 \cdot y_1 + P_2 \cdot y_2 + P_3 \cdot y_3 + P_4 \cdot y_4$$

此結果ハ(8)式ニ示ス如ク合成力ノ X 軸ニ對スル力率ハ各個ノ力ノ同軸ニ對スル力率ノ和ニ等シキ事ヲ示ス、全ク同様ニシテ Y 軸ニ對スル(8)式ヲ證明スル事ヲ得ル。

(8)式ヲ用フレバ S 點ノ座標ニ對シテ次ノ値ヲ得。

$$\eta = \frac{\Sigma P \cdot y}{\Sigma P}, \quad \xi = \frac{\Sigma P \cdot x}{\Sigma P} \dots \dots \dots (9)$$

尙圖式的ニ S 點ノ位置ヲ求メンニハ與ヘラレタル力ガ平面 E ニアルモノノ如ク考ヘテ初メ先ヅ X 軸ニ平行ニ次ニハ Y 軸ニ平行ニ働ク力ト考ヘ其各々ノ場合ニ就イテ平衡多邊形ノ作圖ヲ應用シ此二方向ニ於ケル合成力ノ位置ヲ求ムレバ其交點 S ガ求ムル合成力 R ノ E 平面ニ於ケル作用點トナル。

此作圖ニ於テ注意スベキ事ハ力 P ノ方向デアツテ正負相混ズル時ニハ誤ナク之ヲ區別セネバナラス、例ヘバ Fig. 46 ニ於テハ P_5 ノミガ他ノ力ト異ナル方向ヲ有スルガ故ニ X 軸ノ方向ニツキ考フル場合ニモ Y 軸ノ方向ニ就キ考フル場合ニモ其方向ハ逆ニ採ラレネバナラス事ヲ示ス。

(II). 任意ノ力ノ合成。

任意ノ方向ヲ有シ且ツ空間ノ任意ノ點ニ働ク力ヲ合成スルニ

ハ先ヅ任意ニ茲ニ平面 E ヲ考ヘ其與ヘラレタルカトノ交點ヲ決定シ而シテ此點ニ於テカヲ平面 E ニ垂直ト平行トノニツニ分ツ、然ル後平面 E ニ垂直ノ總テノ分力ハ (I) ニ述ベタ方法デ合成シ其合成力ヲ N トスル、一方 E 平面ニ平行ニ働ク分力ハ E 平面ノ上ニアルカデアラ本章第三節ニ説明シタ方法デ合成シコレヲ Q トスル、此二段ニ分チ求メタ N ト Q トガモシ交ラナラバコレヲ合成シテ一ツノ合成力ヲ求ムル事ガ出來ル、モシ N ト Q トガ交ラナケレバ其儘二カトシテ存シ之ヲ一カニ合成スル事ハ出來ナイ。

今若シ與ヘラレタカガ任意面 E ニ平行ニ作用スル如キ場合ニハ此平面トノ交點ガ求メ得ラレナイ、從ツテ前述ノ方法ハ應用ス

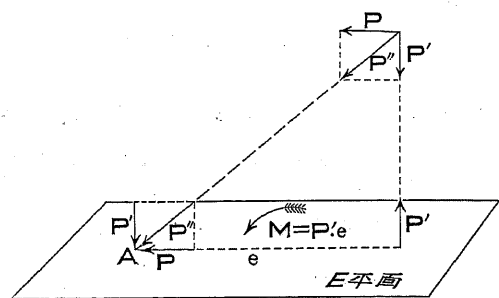


Fig. 47.

ル事ガ出來ナイ、此場合ニハ次ノ如キ解法ヲ用ヒル Fig. 47 ニ於テ與ヘラレタルカヲ P トセバ此 P ト交リ平面 E ニ直角ナル等シクシテ反対ニ向フ任意ノ二カ P' 及 P' ヲ作用セシメタモノト考ヘル、然レバ此 P' ト與ヘラレタ P トヲ合成シテ P'' ナル傾斜力ヲ得其 E 平面トノ交點ヲ求メル事ガ出來ル、今此交點 A ニ於テ P'' ヲ P ト P' トニ分解シタモノト考フレバ此 P' ハ他ノ一ツノ P' トニテ一ツノ偶力率 $M = P'e$ ヲ生ジ同時ニ切線分力 P ハ平面ニ沿フテ作用スル事トナル、換言スレバ空間ニ働ク P ハ任意平面内ニ作用スル P ト今一ツノ偶力率 M トニ分解セラレ得ルノデアアル。

ル事ガ出來ナイ、此場合ニハ次ノ如キ解法ヲ用ヒル Fig. 47 ニ於テ與ヘラレタルカヲ P トセバ此 P ト交リ平面 E ニ直角ナル等シクシテ反対ニ向フ任意ノ二カ P' 及 P' ヲ作用セシメタモノト考ヘル、

第七節 平行面力ノ高次力率

(Higher Moment of Parallel Forces in the Same Plane)

(I). クールマン氏法 (Culmann's method)

Fig. 48 ニ於テ P_1, P_2, \dots, P_n ヲ同一平面内ニ作用スル平行力トシ其平面内ニアル平行軸 LL ヨリ同一方向ニ測ツタ距離ヲ x_1, x_2, \dots, x_n トス、然ル時ハ力ト距離トノ積ノ和

$$P_1 x_1^n + P_2 x_2^n + P_3 x_3^n + \dots = \Sigma P x^n$$

ヲ LL 軸ニ對スル力 P ノ n 次ノ力率ト云フ、其 $n=1$ ナル時ニハ靜力率、 $n=2$ ナル時ニハ慣性能率 (Moment of inertia) ト云フ。

今若シ或力 P ニ對シ $P x^{n-1}$ ノ値ヲ知ルモノト假定セバコレヨリ一次高キ $P x^n$ ナル力率ハ

$$P x^n = (P x^{n-1}) \cdot x$$

ナル關係ヨリ $(P x^{n-1})$ ナルカヲ考ヘ其 LL 軸ニ對スル靜力率ヲ求めレバ $P x^n$ ヲ得ルノデアアル、即チ此理ヲ應用シテ高次力率ハ容易ニ求メラレルノデアアツテ先ヅ與ヘラレタル力ノ靜力率ヲ求メ次ニ之ヲカトシテ第二ノ靜力率即チ二次力率ヲ得更ニ之ヲカトシテ三次力率ヲ得、順次斯クノ如ク反復シテ n 次ノ力率ヲ求メ得ルノデアアル。

Fig. 48 ⑥ ニ於テ與ヘラレタ力 P_1, P_2, \dots ヲ置イテ示力線 FN ヲ作リ X ヲ測ツタト同ジ方向ニ極距 H ヲ測ツテ極 O ヲ定メ極射線 I, II, ..., VI ニ平行ニ平衡多邊形 ABCDE ヲ作ル、其多邊形ノ各邊ヲ延長シタモノガ軸 LL ヲ 1, 2, 3, ... ニテ切ツタモノトス、然ル時ハ

茲ニ生ジタ三角形 $\begin{cases} 1A2, 2B3, 3C4, 4D5, 5E6 \\ FOG, GOJ, JOK, KOM, MON \end{cases}$ ハ夫々相似トナリ且

ツ極距 H ハ x ノ方向ニ測ラレ居ル故ニ次ノ比例式ヲ得ル。

$$x_1 : \overline{12} = H : P_1, \quad x_2 : \overline{23} = H : P_2, \dots$$

故ニ $P_1 x_1 = H \cdot \overline{12}, \quad P_2 x_2 = H \cdot \overline{23}, \dots$

$$\therefore \Sigma P x = H (\overline{12} + \overline{23} + \overline{34} + \dots)$$

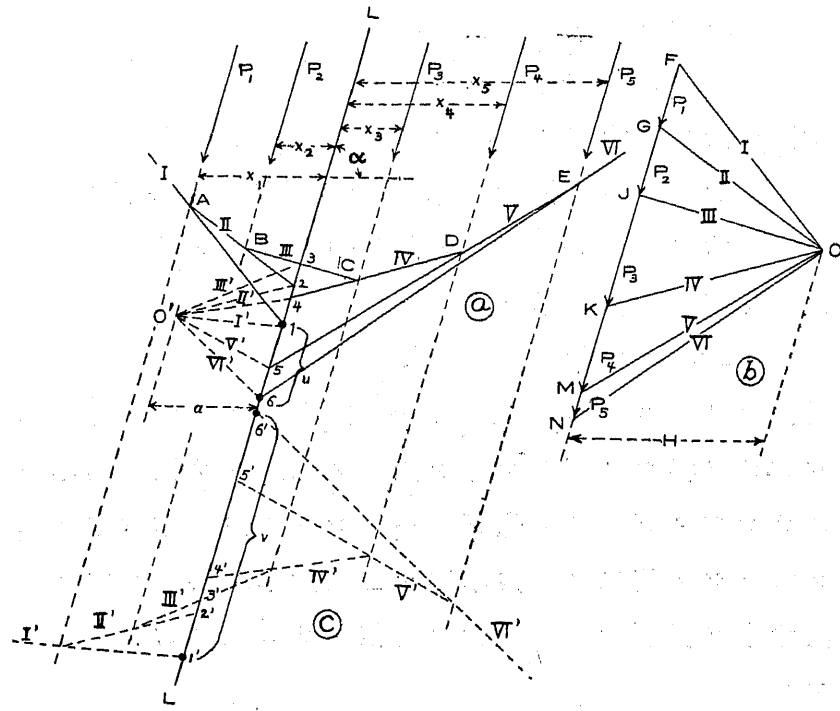


Fig. 48.

而シテ此式ノ右邊括弧ノ内ノ $\overline{12}, \overline{23}, \dots$ ハコレヲ加ヘ合ハセル時其符號ヲ考ニ入レ代數和ヲ求メネバナラス、而シテ Px ヲ求メルニ當ツテ x ノ正負ハ $\overline{12}, \overline{23}, \dots$ ノ正負ト一致スベキモノデアツテ圖上 LL 軸ノ右方ノ x ヲ正トスレバ正ノ範圍ハ x_3, x_4, x_5 即チ $\overline{34}, \overline{45}, \overline{56}$ デ

アツテ負ノ範圍ハ x_1, x_2 即チ $\overline{12}, \overline{23}$ デアル、依テ代數總和ハ

$$\overline{12} + \overline{23} + \overline{34} + \dots = \overline{16} = u$$

$$\therefore \Sigma P x = H u \dots \dots \dots (10)$$

此事實ハ本章第五節ニ説明シタ所カラモ直接求メ得ル。

次ニ $\Sigma P x^2$ ヲ求メンニハ LL 軸上ニアル線分 $\overline{12}, \overline{23}, \dots$ ヲカト考ヘ x ノ方向ニ測ツタ極距 a ヲ有スル任意極 O' ヲ作り O' カラ I', II', III', \dots ノ極射線ヲ引キコレニ對スル平衡多邊形 \odot ヲ作ル、其各邊ガ LL 軸ト交ル點ヲ $1', 2', 3', \dots$ トセバ前同様ニ

$$x_1 : \overline{1'2'} = a : \overline{12}, \quad x_2 : \overline{2'3'} = a : \overline{23}, \dots$$

且ツ $P_1 x_1 = H \cdot \overline{12}, \quad P_2 x_2 = H \cdot \overline{23}, \dots$

デアアル故ニ此關係ヲ挿入シ

$$P_1 x_1^2 = H a \cdot \overline{1'2'}, \quad P_2 x_2^2 = H a \cdot \overline{2'3'}, \dots$$

從テ $\Sigma P x^2 = H a (\overline{1'2'} + \overline{2'3'} + \dots) = H a \cdot \overline{1'6'} = H a v$

故ニ二次ノ慣性能率ハ

$$I = \Sigma P x^2 = H a v \dots \dots \dots (11)$$

此式ニテ H ヲ力ノ尺度ニテ測レバ a 及 v ハ長サノ尺度デ測レバヨロシ、 H 及 a ハ極距デ豫メ任意ニ採リ得ル故ニ整數ニ置ケバ便デアアル。

全ク同様ニ $\Sigma P x^3$ ヲ求メンニハ $\overline{1'2'}, \overline{2'3'}, \dots$ ヲ P ノ方向ニ働クカト考ヘコレニ對シ極距 b ヲ有スル極ヲ採リ平衡多邊形ヲ作圖セバ其兩端邊ガ LL 軸上ニ挟ンダ長サヲ w トシ

$$\Sigma P x^3 = H a b w \dots \dots \dots (12)$$

更ニ $\Sigma P x^n$ ヲ見出スニハ同様ノ作圖方法ヲ n 個ノ平衡多邊形ニ對シテ繰返シ行ヘバ求メラレル。

凡テノ極距ハ x ノ方向ニ測ラレ居ル事ハ注意スベキ事デアアル。

(II). モール氏法 (Mohr's method)

本法ハ慣性能率(二次力率)ヲ求ムル方法トシテ極メテ便利ナモノデアアル,即チ第一ノ平衡多邊形カラ直接二次ノ力率ヲ求メ得ルノデアアル。

先ヅ Fig. 48 @ ノ平衡多邊形ABCDEト其兩端邊 L,VI 及 LL 軸ニテ包マレタ面積ヲ F トスレバ

$$\begin{aligned}
 F &= \triangle 1A^2 + \triangle 2B^3 + \triangle 3C^4 + \dots \\
 &= \frac{1}{2} \sin a \cdot (x_1 \cdot 1^2 + x_2 \cdot 2^3 + x_3 \cdot 3^4 + \dots) \\
 &= \frac{\sin a}{2H} (P_1 x_1^2 + P_2 x_2^2 + P_3 x_3^2 + \dots) \\
 &= \frac{\sin a}{2H} \Sigma P x^2
 \end{aligned}$$

式中 $a=L$ 軸ト x ノ方向トノ間ノ角

前式ヲ書き直セバ

$$I = \Sigma P x^2 = \frac{2HF}{\sin a} \dots \dots \dots (13)$$

今モシ $a=90^\circ$ トナル如ク作圖スレバ即チ x ノ方向ヲ力 P ノ方向ニ直角ニ採ルモノトスレバ

$$I = 2H \cdot F \dots \dots \dots (14)$$

故ニ極距 H ヲ知り面積 F ヲ測面器 (Planimeter) 其他ノ手段ニテ求ムル時ハ容易ニ慣性能率 I ガ得ラレル。

本法デ二次以上ノ力率ヲ求メル事ハ出来ナイガ實際ニ遭遇スル問題トシテハ二次ノ慣性能率以外ニ出ヅル事ハ稀デアアル。

問 題 集 第 一

- (1) 10 lbs ノ物體ヲ釣ルニ長 3 尺 及 4 尺 ノ絲ヲ以テ天井ニ於テ 5 尺 ヲ隔ツル

二點ニ結ビ附ケタリ各絲ノ張力ヲ求ム。

答. 8 lbs. 及 6 lbs.

- (2) 120 lbs ノ一力ヲ與ヘテ之ヲ互ニ直角ヲ爲ス次ノ二力ニ分解セヨ。

(a) 其一ガ 75 lbs ナル場合

(b) 其一力ガ合成力ト $34^\circ 7'$ ヲ爲ス場合

答. (a) 93.65 lbs. 合成力トノ角 $38^\circ 41'$

(b) 99.34 lbs. 及 67.31 lbs.

- (3) 水平棒 AB アリ長 13' ニシテ A 端ハ鉸トナリ B 端ハ單純ニ支持サレテ垂直反力ヲ受ク四力 8, 5, 12 及 17 lbs. ガ AB 上 A 端ヨリ 1, 4, 8 及 12 尺ノ點ニテ AB ノ方向ト $70^\circ, 90^\circ, 120^\circ$ 及 135° (時針方向ニテ) ヲ爲シテ作用スル時鉸ニ働ク壓力ノ量及方向ヲ求ム。

答. 21.6 lbs. AB 上 134°

- (4) ABCD ハ邊長 20' ヲ有スル正方形トシ AB ノ中點ヲ E トス, 7, 8, 12, 5, 9 及 6 lbs ノ力ガ AB, EC, BC, BD, CA 及 DE ノ方向ニ作用スル時此物體ガ平衡ニアル爲メニ必要ナル一力ノ量位置及方向ヲ求ム。

答. 11.46 lbs. A ヲヨリ 28.6° . AD 邊上 197° ナラス。

- (5) 同一平面内ニアル數個ノ力ガ

(a) 一點ニ作用シタルトキ

(b) 數多ノ異ナル點ニ作用シタルトキ

必要ニシテ且充分ナル圖式ノ平衡條件ヲ述ベヨ。

- (6) 三角形三周邊ノ重心ト其面積ノ重心トハ正三角形ニ非ザル限り一致セザル事ヲ證セヨ。

- (7) 圖示ノ如キ四力ガ中心 Z ニ對スル力率ヲ圖式ニテ求メヨ。

答. 11.9 in-ton.

- (8) A, P₁, P₂, P₃ 及 P₄ ノ五平行力ガ圖示ノ如ク作用スル桁ニ於テ其桁中點 C ニ對スル是等五力ノ靜力率ヲ求ム。

答. 253 m-ton.

